

令和 7 年度（2025 年度）  
第 2 回 熊本市公民館運営審議会  
審議資料

日時：令和 8 年（2026 年）2 月 12 日（木） 10 時から

場所：熊本市花園公民館 ホール



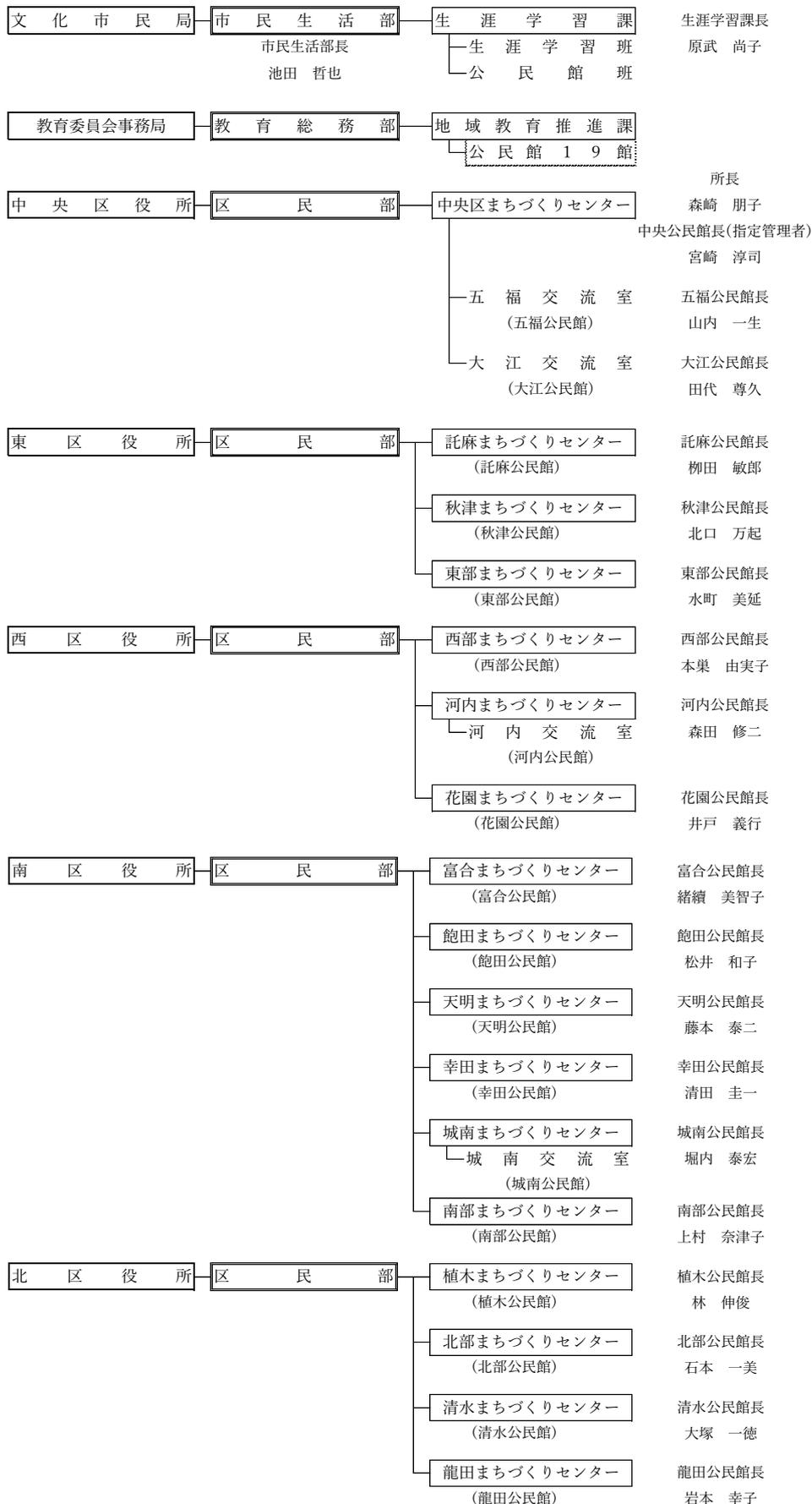
# 目 次

	ページ
熊本市公民館運営審議会委員名簿	1
熊本市公民館関係組織図	2
令和7年度（2025年度）公民館活動について	3
（1） 生涯学習の基本理念	3
（2） 基本施策	3
（3） 令和7年度の公民館での取組	3
（4） 公民館での実際の取組	4
（5） 各研究グループからの発表	57

## 熊本市公民館運営審議会 委員名簿

区 分	氏 名	所属団体・役職等
学識経験者	香崎 智郁代	九州ルーテル学院大学人文学科教授
学識経験者	藤井 美保	熊本大学大学院教育研究科 大学院担当准教授
学校教育	堀川 貴史	熊本市中学校長会 熊本市立五霊中学校長
学校教育	穴井 佳典	熊本市小学校長会 熊本市立龍田小学校長
学校教育	村本 博文	熊本市立幼稚園長会 熊本市立向山幼稚園長
社会教育	滝本 恵子	熊本市青少年健全育成連絡協議会 理事
社会教育	加藤 貴司	熊本市地域公民館連絡協議会 会長
社会教育	勝谷 知美	一般財団法人熊本市国際交流振興事業団 事務局長
家庭教育	郷原 久美子	熊本市子ども会育成協議会 副会長
家庭教育	高森 慶子	家庭教育学級長（清水小学校）
家庭教育	栞木 孝一	熊本市民生委員児童委員協議会 副会長
家庭教育	中村 理絵	熊本市PTA協議会 副会長
家庭教育	福島 貴志	熊本市ボランティア連絡協議会 副会長
社会教育	川地 純一	市民公募
社会教育	木下 昭二	市民公募
任期：令和7年（2025年）6月1日から令和9年（2027年）5月31日まで		

# 熊本市公民館関係組織図



# Ⅰ 令和7年度(2025年度)公民館活動について

## (1) 生涯学習の基本理念 \*第2次熊本市生涯学習推進計画より

「学びと活動の循環」による、  
市民一人ひとりが豊かな人生を送ることのできる社会の実現

昨今の社会の変化に対応し、市民一人ひとりが心豊かな人生を送るためには、生涯にわたって学び続けることが重要である。

そして、今後は学んだ成果を適切に生かすことのできる社会の実現が求められている。

これまで、生涯学習による「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」という「学びと活動の循環」の仕組みを構築し、市民一人ひとりが豊かな人生を送ることのできる持続可能な社会を目指してきたが、今後もその重要性は変わらないものと考えており、社会の変化を踏まえて、より効果的な「学びと活動の循環」の仕組みに改善していくことが必要である。

## (2) 基本施策

### ①市民が学ぶ楽しさを実感できる学習機会の提供

市民一人ひとりの生涯学習を推進するためには、学習できる環境の整備と提供する学習内容の充実が必要である。

そこで、学習環境の整備として民間事業者や大学との連携強化、デジタル化の推進など、市民が学習しやすい環境をつくる。

また、学習内容を充実させるため、ライフステージ、現代的・社会的な課題や市民ニーズに対応する学習機会と学習内容の充実を図っていく。

### ②生涯学習とつながる社会参加の機会の充実

人生100年時代の中で、一生を通して学び続けることが必要な時代になっている。自ら学んだ成果が適切に評価され、他者に発表する機会を得られることは、新たな気づきや刺激になるとともに、次の学びへの意欲の向上につながる。

さらには、学んだ成果が地域に還元されることで、地域社会全体の教育力の向上にも貢献するというように、地域における「学びと活動の循環」が形成される。

このため、学んだ成果を適切に生かすことのできる社会づくりを進めていく。

併せて、複雑化・多様化した地域課題解決に対応するために、地域住民と多様な活動主体がつながり、課題を共有し、解決策を検討していくためのネットワークを構築する。

## (3) 令和7年度の公民館での取組

基本施策を推進していくために本市公民館では、下記の事項を中心に地域の実情に応じた取組を実践していく。

### ① 多様な主体との連携協働の推進

・大学等の教育機関をはじめ、関係団体、民間事業者等と連携することにより、市民の多様化する学習ニーズに応じた学びの場を提供する。

## ② デジタル化の推進

- ・デジタルディバイド解消を含め、あらゆる市民がデジタル化の恩恵を享受できるような事業に取り組む。

## ③ 持続可能な地域づくりの推進

- ・地域の歴史や文化などの財産を共有し、それを活かした持続可能な未来の姿を住民自らが考え、実現するための取組を支援する。
- ・世代のつながりを重視した多世代交流型の事業の充実を図る。

## ④ 人材やボランティアの養成・活用

- ・地域づくりの担い手になる人材育成に積極的に取り組むとともに、地域活性化に取り組む民間等の人材との連携・協働を図る。
- ・幼少期から地域の愛着を育む事業を展開し、参加した青少年や若年層を積極的に活用する。

## ⑤ 健康づくりと生きがいの充足

- ・高齢者が健康で自立して暮らしていくための学習や活動、つながりづくりに取り組む。
- ・豊かな知識・技術・経験を有する高齢者の活躍の場や機会を創出する。

## ⑥ 家庭教育と青少年健全育成の支援

- ・家庭教育に関して、親同士の学びあいを促進する。(家庭教育学級ほか)
- ・子どもが主体となるような様々な体験活動の場を設け、異年齢の子ども同士の交流を図る。
- ・地域特性に応じた文化・自然・社会体験を含む学習機会を、すべての子どもたちに提供していく。

## ⑦ 地域学校協働活動の推進

- ・地域学校協働活動に携わる地域住民の学びや住民同士のつながりづくりに積極的に関わりながら、学校と連携・協働して「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を推進する。

## ⑧ 地域の防災力の向上

- ・地域の防災・減災力を高めるための学びの場をつくり、地域の防災組織の学習の支援、地域の防災士等のボランティアとの連携、自主防災組織との連携などを通じて、だれもおきざりにしない地域防災の活動の支援、促進を行う。

## ⑨ 共生社会の実現(人権意識の向上)

- ・性別、障がいの有無、病気、国籍、年齢などに関係なく、一人ひとりの人権が尊重され、互いの生き方を認め合うとともに、多様な考え方が活かされる社会を実現するために、学級・講座の開設や交流活動など人権に関する多様な学習機会を提供する。

## (4) 公民館での実際の取組

### ① 多様な主体との連携協働の推進

- 大学等の教育機関をはじめ、関係団体、民間事業者等と連携することにより、市民の多様化する学習ニーズに応じた学びの場を提供する。

〈北部公民館〉

項目		講座名		
①	⑤	新聞を使って、脳トレ～よみかた講座～		
日時		令和7年(2025年)11月14日(金)午前10時～10時50分		
場所		北部公民館 大会議室 ※ほか2会場でオンライン配信で実施		
対象		65歳以上の高齢者を中心にどなたでも		
ねらい/内容		熊本日日新聞との連携講座。新聞の身近な情報を題材にしたワークを通して、脳を活性化し、認知機能低下を予防する。		
参加者の反応感想等		新鮮で楽しく、集中できて達成感もあり、認知機能の維持に役立つと感じた参加者が多く、今後も続けたいという声が寄せられた。		

〈秋津公民館〉

項目		講座名		
④	① ⑦	おでかけ公民館「お茶の文化に親しもう」		
日時		令和7年5月21日(水) 9時10分～12時25分		
場所		秋津小学校 家庭科室		
対象		秋津小学校5年生(参加者数111人)		
ねらい/内容		校区の健軍商店街にあるお茶屋さんに来てもらい、お茶の種類やいれ方、お茶の活用方法について知り、日本人の生活や文化に根づいているお茶についての理解を深める。		
参加者の反応感想等		家庭科の「お茶の学習」と国語科の「和の文化を受けつぐ」の学習とつながっており、大変勉強になり、お茶への興味を持った児童も多かった。お茶に触れる機会が少なくなった児童にとって良い機会だった。		

〈花園公民館〉

項目		講座名		
①	③ ④	教養講演会「熊本の地名に秘められた歴史と物語」		
日時		令和7年 6月1日(日) 午後2時～午後3時半		
場所		花園公民館 ホール		
対象		参加人数 52人		
ねらい/内容		熊本の地名に詳しい地名研究会の毛利秀士氏による講演である。特に、管轄である城西・花園・池田校区の地名についても触れていただく内容。		
参加者の反応感想等		地名や歴史に興味のある参加者が多く、地名に関しての見識を深めることができた。また、質問をする時間もあり、大いに盛り上がった講座となった。		

〈五福公民館〉

項目			講座名
①	③	⑦	明後日朝顔プロジェクト
日時			令和7年5月29日(木)～1月9日(金)
場所			五福小学校、公民館花壇、教室等
対象			小学生、地域住民あわせて(参加者数17人)
ねらい/内容			明後日朝顔プロジェクトはアーティスト日比野克彦(熊本市現代美術館長)が20年前に新潟県助平の方々と始めた作品で、東北から沖縄まで助平の種を受け取って地域間で種を交換したりしながら交流を育てている。今回、その作品の中に五福地域も加わるようになった。
参加者の反応感想等			「なかなか花が咲かず、心配したが、夏も終わりごろになると咲き始めてよかった。種もとれてうれしかった。」と子どもたちの感想があった。地域の方々からは「子どもたちとの触れ合いが楽しかった」との声を聞いた。



〈幸田公民館〉

項目			講座名
	①		ハンドベルコンサートと体験会
日時			令和7年8月3日(日) 午前10時～正午 全1回
場所			幸田公民館 ホール
対象			(参加者数28人)
ねらい/内容			講師は、ルーテル学院大学ハンドベル部OGの方々へ依頼した。講師9人は全員20歳代で、若い世代の公民館利用もねらいとした。ハンドベル22個を操作しながら、童謡やクラシックを演奏したり、実際にハンドベルに触れての体験会を行った。参加者は、幼児から、小学生、大人の各世代が参加した。
参加者の反応感想等			参加者の感想は、ハンドベルの音色が、心地良く会場に響きわたり充実した時間でした。ハンドベルも色々な大きさのハンドベルを初めて触れて、楽しくて、面白かったです。との感想が聞かれた。



〈城南公民館〉

項目			講座名
①	④	⑥	おいしい!楽しい!お弁当づくり
日時			令和7年5月11日(日) 午前10時～正午 全1回
場所			城南公民館 調理室
対象			小学生と保護者[見守り](参加者数11組)
ねらい/内容			お互いに知り合いでない子どもたちがコミュニケーションを楽しみながら料理する喜びを感じ取らせる。よって親は我が子を近くで見守って参加することになる。出来上がったお弁当は、みんなで会食したり、持ち帰って食べる家族もいる。
参加者の反応感想等			仲良く人間関係を図りながら料理活動を楽しむ姿が見られた。また家庭では子ども一人で料理することも少なく、体験・経験を見つめる保護者の目は温かいまなざしであった。家庭でさらに本日の学びを活用したメニューで挑戦したいと語る親子もいた。



〈清水公民館〉

項目			講座名
①	④	⑥	清水公民館おはなしのへや
日時			令和7年度 毎月第1・第3金曜日、第2土曜日、第4日曜日 午前10時半～11時半（全48回）
場所			清水公民館和室 または ロビー
対象			0歳児、1～2歳児、3～6歳児、7歳以上（参加者数1人～19人）
ねらい／内容			読み聞かせボランティア「清水おはなし会”ふしぎふしぎ”」により年間を通じて運営される。ロビーや和室を舞台に、絵本の読み聞かせや手遊び、歌を披露する。こどもたちに本やおはなしの良さを感じてもらう。
参加者の反応感想等			「面白かった」「また来たいです」「こどもの読み聞かせを体験させてくれて連れてきた」「とてもいいおはなし会でした」「おはなし会の皆様に感謝します」



〈大江公民館〉

項目			講座名
①	⑥	⑧	子ども消防訓練
日時			令和7年11月30日(日) 午前10時～11時半
場所			大江公民館 大ホール・プロムナード
対象			小学生・保護者(参加者数30人)
ねらい／内容			中央消防署の方々が講師となり、日ごろの防災についての話や実際の消防体験を実施。参加者を3グループに分け、3箇所のブースを巡回しながら、心肺蘇生や簡易担架、水消火器等の体験を行った。
参加者の反応感想等			参加者にとっては、関心のある消防体験であったが、知らなかったことの発見も多く、また、小学生の保護者も見学しながら参加されたため、親子で体験を共有することができ良い機会となった。



〈南部公民館〉

項目			講座名
①	③	⑤	こどもチャレンジ「中無田閘門カヌー体験」
日時			令和 7年 9月 13日(土) 午前 10時～正午 全1回
場所			中無田閘門
対象			(参加者数 17 人)
ねらい／内容			南区こどもチャレンジ公民館の企画講座である。毎年行っている「カヌー体験」では、加勢川開発研究会の方の協力を得て、加勢川に生息する生き物や水草の学習を行い、閘門でカヌーの体験を行う。
参加者の反応感想等			初めてカヌーをする児童も多く、最初は恐る恐る漕いで、真っ直ぐに進めていませんでしたが、すぐに慣れて楽しく体験できました。また、飛び込みもできて楽しかったです。



〈植木公民館〉

項目			講座名
①	⑤	⑨	市民企画講座(NPO法人u&uNスポ植木企画)「スポレク広場」 ～楽しく健康づくり 自宅でもできるその方法～
日時			6月12日(木)～10月16日(木) 午前10時～午前11時半 全10回
場所			植木公民館 多目的ホール
対象			60歳以上の方
ねらい/内容			NPO法人u&uNスポ植木の市民企画講座で、健康や健康づくり普及啓発を行う為の講座。みんなで行うスポーツ・レクの楽しさと効果を体感してもらい、楽しみながら継続的に進めるプログラムを学習する。
参加者の反応感想等			<ul style="list-style-type: none"> <li>・このような、年配の人でも参加できる、運動系の講座をたくさん開催してほしい。</li> <li>・毎回リラックスでき、楽しく参加できてとてもよかったです。</li> </ul>



〈西部公民館〉

項目			講座名
①	⑤		筋力強化につながる立ち方・座り方
日時			令和7年9月27日(土) 午前10時～11時 (全1回)
場所			西部公民館 会議室A
対象			どなたでも(参加者数20人)
ねらい/内容			熊本県理学療法士協会との共催で行う講座。西部公民館での開催は4年目となるが、もともとは理学療法士協会が西区の方を対象とした講座を行いたいという相談がきっかけで始まったもの。地域の方に対して、寝たきりの方が増えないように考えていただくもの。
参加者の反応感想等			椅子に座ったままでできる体操ということで、家でも取り組みやすいとの感想をいただいている。高齢者向けの講座となっているが、比較的若い世代にも参加していただいている。



〈中央公民館〉

項目			講座名
①	③	⑥	わくわく恐竜ものがたり
日時			令和7年5月17日、6月21日、7月19日、8月16日 日曜開催 午前10時～正午 全4回
場所			中央公民館 5F中3・4会議室
対象			小学3年生～6年生
ねらい/内容			御船町恐竜博物館の協賛のもと開催した講座である。地球の歴史や恐竜の生態について、専門家の講話(恐竜について・アンモナイトとは・オーロラとは・地球の三つの世代)と様々な体験プログラムをもとに、小学生が学ぶ機会を設けた。
参加者の反応感想等			恐竜に関心を持っていても、御船町恐竜博物館まで行くことが難しい子どもたちも多く、実物の恐竜の骨に触る体験や講話内容はとても新鮮な体験となっていた。また、体験プログラムには参加を希望される保護者も多数いて、親子で楽しく学ぶ機会となった。



〈龍田公民館〉

項目			講座名
①	④	⑥	ペットボトルが大変身！～夏を呼ぼう りんりん風鈴づくり～
日時			令和 7年8月9日(土) 午前9時～正午 全1回
場所			龍田公民館 ホール
対象			小学1～3年生(参加者数 25人)
ねらい/内容			夏休みの機会に、小学生にもものづくりの楽しさを体験する場を提供すると共に、小学生と大学生の交流をねらいとした。ペットボトルを使って風鈴を作る内容。将来教師を目指す人材が社会教育の場で小学生と触れ合う体験はとても意義深く、両者にとって大変貴重な体験活動ができた。
参加者の反応感想等			小学生の工夫やイラストなどは、大学生の予想を超えて大変素晴らしい風鈴が出来上がっていた。学生がステージで寸劇をしたり、ものづくりの前にアイスブレイクを行ったり、小学生が楽しく活動できる工夫が感じられた。「夏休み、どこにも連れていけないので、参加できて良かった」という保護者の声も聞かれた。



②デジタル化の推進

デジタルデバイド解消を含め、あらゆる市民がデジタル化の恩恵を享受できるような事業に取り組む。

〈飽田公民館〉

項目			講座名
②	⑤	⑧	はじめてのスマホ講座(Android版)
日時			令和7年6月6日、13日、20日(金曜日) 午前10時～正午 (全3回)
場所			飽田公民館 セミナー室
対象			どなたでも(参加者数21人)
ねらい/内容			AndroidをOSとした携帯電話は、製造会社・機種によって操作方法が違い、高齢者をはじめとして利用者が困っている場合が多い。そういった悩みを解決し、社会生活の中で自分が取り残されたという意識を持たないようにするとともに、よりよい生活をしていくためのツールとして活用してほしいと企画した。
参加者の反応感想等			基本的な操作はもとより自分が操作で悩んでいたことも解決し、大変喜んでおられた。こういった講座をもっと開催してほしいという要望が多かった。

〈北部公民館〉

項目			講座名
②	⑤		パソコン講座「よろず相談」
日時			令和7年(2025年)12月14日(日) 午前10時～正午
場所			北部公民館 西里分館 会議室A・B
対象			パソコンが準備できる方で18歳以上の方
ねらい/内容			パソコン全般の知識や技能を習得することを目的とし、専門の講師がパソコンに関する様々な相談に応じることで、疑問や不安を解消し、実践的なスキルを身につける。
参加者の反応感想等			専門の講師に直接相談できたことで、疑問や不安が解消され、安心して学べたという声が多く聞かれた。実践的なスキルを身につけることができ、パソコン操作への自信が高まったという感想が寄せられた。



〈秋津公民館〉

項目			講座名
④	②	⑦	プログラミング体験
日時			毎月1回日曜日 10時～12時
場所			秋津公民館 A会議室
対象			小中学生(参加者数10人程度)
ねらい/内容			経験に応じて、スクラッチ、ビスケットなどからはじめ、小学校高学年や中学生になると、自分でプログラミングしてロボットを動かすなど個に応じたレベルで学習していく。毎回その日にやったことをみんなの前で発表し、参加者みんなで共有する。
参加者の反応感想等			参加者の中には、学校では不登校気味だが、プログラミング体験には必ず参加する生徒もいて居場所の一つとなっている。また、学校以外の友だちと一緒にプログラミングを学ぶことを楽しみに参加している児童生徒もいる。



〈河内公民館〉

項目			講座名
①	②	⑤	オンラインでつながろう
日時			令和7年5月22日～令和8年3月19日 午前10時～11時 原則木曜日・全11回
場所			河内公民館、参加事業所(オンライン)
対象			(1回の平均参加者数60人程度)
ねらい/内容			施設に入所されていたり、普段公民館に来れない方々もオンラインで結び、交流や健康増進の機会としている。内容は、体操、動画視聴、歌などであるが、7月は、中学生も参加し、学校紹介や簡単な交流を行った。
参加者の反応感想等			参加者は、体操や歌など楽しまれていると施設職員より伺っている。普段の生活の中で、小イベントになっている様子である。夏休みに参加した中学校の先生からは、生徒が人前で発表したり、高齢者の方々と接する良い機会だったとの感想があった。



〈花園公民館〉

項目			講座名
②	④	⑧	スマホ初心者お悩み相談会
日時			令和7年8月1日(金)第①部 午前10時～午前11時 第②部 午前11時～正午
場所			花園公民館 BC会議室
対象			参加人数 第①部 7人 第②部9人
ねらい/内容			通常講師の3人に加え、千原台高校の高校生、西区の社会教育主事、社会教育主事講習受講生も含めて、ほぼマンツーマンでの講座である。それぞれのニーズに応じた相談に対応できる内容である。
参加者の反応感想等			基本操作から応用の内容まで1対1で相談できたことで、満足の非常に高い講座となった。また、講師と参加者の会話がはずみ、積極的な交流が行われていた。



〈五福公民館〉

項目			講座名
②	⑥	⑦	親子元気アップ講話(1～3年生)『タブレット・ゲームの元気になれるおやくそく』
日時			令和7年10月16日(木) 午前10時半～午前11時半 全1回
場所			熊本市立春竹小学校体育館
対象			小学生、保護者、地域住民(参加者数215人)
ねらい/内容			親子で健康について学ぶ。ゲームを健康的で安全に楽しむ。睡眠や生活リズム、脳への影響、依存について知る。
参加者の反応感想等			<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生のお話に出てきたお約束を、自分から決めて実行できるようになったら嬉しい。</li> <li>・具体的な対策が聞けたので良かった。子ども本人も終わり方がわからないと思っていたと思うので、先にゴールを決めて話し合いたい。</li> <li>・こちらから一方的に言うほうが多かったように感じます。今後は子どもの願いも聞きながらうまく付き合っていけたらいい。</li> <li>・大変わかりやすく具体的な解決方法も教えていただき勉強になりました。4～6年生にも教えたい。</li> <li>・親子でコミュニケーションをとって決めることの大切さに気付かせていただきました。小さいころからこのような話を聞く機会が必要だと思いました。</li> </ul>



〈城南公民館〉

項目			講座名
②	③	⑤	Excel(エクセル)基礎講座・Word(ワード)基礎講座
日時			○Excel(エクセル):令和7年4月8日(火)～4月10日(木) 午後2時～4時 (全3回) ○Word(ワード):令和7年5月14日(水)～5月16日(金) 午後2時～4時 (全3回)
場所			城南公民館 学習室4
対象			どなたでも(参加者数エクセル10人・ワード11人)
ねらい/内容			一般的に使用されているソフトを使い、文字入力から表計算(和差積除)に至るまでの基礎的過程を学んだ。実施期日的上シニアの方が多く、参加者の要望を汲みながら2人の講師で対応して取り組んだ。
参加者の反応感想等			個人的に家庭ではなかなか使用しないしマニュアルを読むのも億劫で、この様に教えていただいて嬉しいと感想を述べられていた。いろんな便利な使い方や用途を考えて、日常的に使用しようとする態度育成にもつながった。



〈清水公民館〉

項目			講座名
②	③	⑤	使いこなす！LINE入門
日時			令和7年10月1日(水)、8日(水)、15日(水) 午前10時～正午 (全3回)
場所			清水公民館 第1研修室
対象			アンドロイドスマホを持参できる方 (参加者数15人)
ねらい/内容			有限会社マリオネットの職員が講師になり、1人が全体指導、もう一人が個別指導という分担で講座を進めた。高齢者の参加が多い。LINEの使い方に関する理解を深め、使いこなすことができるようになった。
参加者の反応感想等			「ラインの使い方がよく分かった」「いろいろな使い方があることが分かった」「家族や友人と交信できるようになった」「二人の講師から個別の質問に答えてもらった」



〈大江公民館〉

項目			講座名
②	④	⑥	スマホ悩み相談
日時			令和8年1月24日(水) 午後2時～4時
場所			大江公民館 C会議室
対象			どなたでも(参加者数20人)
ねらい/内容			スマートフォンの操作に不慣れな方に高校生ボランティアが講師となり、マンツーマンでそれぞれの悩み相談を行う。公民館講座に申し込む際の二次元コードの読み取りや基本操作等について対応できた。
参加者の反応感想等			参加者にとっては、自分のわからないことを中心に気軽に質問できるところが喜んでいただけた。ひとつひとつのことに時間をかけて説明できたことで理解していただき、高校生の励みにもつながった。



〈託麻公民館〉

項目			講座名
②	⑤	⑧	スマホ講座(全4回)
日時			令和7年9月24日、10月22日、11月26日、12月24日(全て水曜日)午前10時～12時 (全4回)
場所			託麻公民館 C会議室
対象			どなたでも(参加者数 4回でのべ38人)
ねらい/内容			ソフトバンクの協力によるスマホの使い方講座。基礎基本の学習から、生活に役立つアプリの便利な使い方、災害の備えまで学習する。
参加者の反応感想等			スマホを持っていなくても参加できるのがよい。操作の仕方や便利な使い方が分かった。災害が起こったときに役に立つと思った。無料で講座の復習やレッスンも受けることができ助かっている。



〈富合公民館〉

項目			講座名
①	②	④	スマホ詐欺対策&LINE講座
日時			令和7年9月30日（火）午前10時～正午 全1回
場所			富合公民館 研修室1
対象			（参加者数 15人）
ねらい/内容			デジタルディバイド解消をねらいソフトバンク株式会社の講師に依頼・実施。この講座では、関心が高い「詐欺対策」及び「LINE（熊本市公式LINE）」に特化した講座として企画して募集した。スマートフォンの便利さの裏に隠れる犯罪の事実に触れ、活用力を向上させることをねらう。
参加者の反応感想等			スマホを持っていなくても参加可能で、ガラケーからの買い替えを検討している人、家族から勧められたので参加した人などが受講。複数の講師からサポートがあった。講座終了後に個人的に相談している姿もあり、詐欺対策について関心があったなどの声が聞かれた。



〈植木公民館〉

項目			講座名
②	⑧	⑤	初めてのスマートフォン講座
日時			10月21日(火)・22日(水)・23日(木) 午前10時～正午(全3回)
場所			植木公民館 視聴覚室
対象			どなたでも
ねらい/内容			スマートフォン(iPhone、Android)を初めて使うという方向けの講座。基本操作をマスターしていただく。 ・基礎知識と基本操作 ・アプリの紹介 ・アプリのインストール方法、等
参加者の反応感想等			・またあったら参加したい。 ・今回の講座の続きをやってほしい。 ・「初めてのスマートフォン講座」から、ライン、写真の転写の方々を次はお願いします。



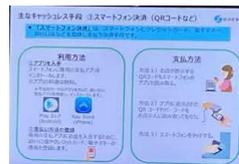
〈西部公民館〉

項目			講座名
②	⑧		LINE初級
日時			令和7年7月11日、18日、25日(金) 午前10時～正午（全3回）
場所			西部公民館 会議室B
対象			どなたでも(参加者数8人)
ねらい/内容			高齢の方々にもLINEを使ったコミュニケーションは浸透しつつある。そこで、LINEを使うための基本的な設定、友達とのつながり方などを学んでもらい、最終的には熊本市公式ともつながってもらうことで、防災情報も受け取ってもらえるように企画した。
参加者の反応感想等			LINEで熊本市公式とつながることで防災情報などへもアクセスできるということを知らなかった方がほとんどであった。



〈中央公民館〉

項目			講座名
①	②	③	はじめてのキャッシュレス決済
日時			令和8年1月20日・27日 火曜開催 午前10時～正午 全2回
場所			中央公民館6F大会議室
対象			成人
ねらい/内容			スマートな支払い方法との認識があっても、不安だったり使い方がよくわからない人等に向け、キャッシュレス決済の基礎情報の他、種類や使い方、メリット・デメリットについて学ぶ機会を設けた
参加者の反応感想等			40代から80代まで幅広い応募があった。キャッシュレス決済の基礎知識を学び、参加者の疑問にも答える形で講座を運営した。そのため、受講生からたくさんの質問や悩みが出され、講師はその都度自己の体験も交え丁寧に応答していた。双方に有意義な学習となっていた。



〈東部公民館〉

項目			講座名
②	③	⑧	スマホのいろは 10:00～11:30
日時			令和7年11月26日、12月5日・19日 各1回
場所			東部公民館 B研修室
対象			どなたでも
ねらい/内容			スマホの基礎的基本的な知識技能を学び、便利な機器の使用に関する導入を図り、セキュリティ意識の向上を図り、情報社会の進む現代に対応できる力をつけるとともに、生活がより向上するように、情報機器をつかうことができるようにする。
参加者の反応感想等			わかっているつもりの基本操作も自分自身は何が大切なのかを理解できていなかった。どのような目的でどのような操作をするのかを理解できたことにより、スマホを身近な存在としてとらえ、活用する意欲が出た。

〈龍田公民館〉

項目			講座名
②	③	⑤	はじめてのスマホ(アンドロイド)
日時			令和7年5月27日(火) 午後1時半～4時半 全1回
場所			龍田公民館 C会議室
対象			どなたでも(参加者数 9人)
ねらい/内容			デジタル化の推進をねらい、高齢者の方もスムーズにスマートフォンの活用ができるよう基本的な内容の講座を行った。
参加者の反応感想等			途中休憩を入れた3時間の講座だったが、参加者からは「あっという間だった!」とてもよかった。充実していた。」という感想があった。講座後も質問をされるなど積極的に学ぼうとする姿勢が印象的だった。



〈天明公民館〉

項目			講座名
①	②	③	高齢者のための、やさしいスマホ講座
日時			令和7年9月3日・4日 午後2時～4時 全2回
場所			天明公民館
対象			どなたでも
ねらい／内容			今やスマホは必須のインフラともいえるツールだが、高齢者は使い方に不安を感じる人が多い。そこで高齢者の方々を主に対象としてデジタルデバインド解消も合わせて今回の講座を実施。防災関連のWEBサイトなどで防災に関する情報収集なども含め基本的な操作を学習することとした。
参加者の反応感想等			電話以外に知らなかった便利な機能を使えるようになり安心した。防災アプリを今回の受講でうまく使えるようになった。音声入力の便利さがわかった。これまでスマホは電話の利用だけであったが宝の持ち腐れであった事がわかった。



③持続可能な地域づくりの推進

- ・地域の歴史や文化などの財産を共有し、それを活かした持続可能な未来の姿を住民自らが考え、実現するための取組を支援する。
- ・世代のつながりを重視した多世代交流型の事業の充実を図る。

〈北部公民館〉

項目			講座名
①	③	⑨	第33回北部ふれあいクリスマス交流会
日時			令和7年(2025年)12月20日(土) 午後1時～3時半
場所			熊本市北部公民館 2階 大会議室
対象			◇北部地域各小中学校児童・生徒◇放課後等児童デイサービス利用者・職員◇北部中学校JRC部生徒・職員◇障がい者支援施設、就労継続支援B型事業所利用者・職員◇北部高校生ボランティアサークル◇北部地区青少年健全育成協議会会員
ねらい／内容			地域活動団体との共催により、まちづくりへの意識を高めるとともに、障がい者と健常者の交流を通して互いを理解し支え合う心を育み、共生社会の一員としての感性を養う。
参加者の反応感想等			バイオリンのクリスマスミニコンサートを楽しみ、心温まる時間を過ごすことができた。ケーキの飾り付けやプレゼント配布もあり、笑顔があふれる中で参加者どうしの交流が深まった。地域のつながりを感じる充実した行事となった。



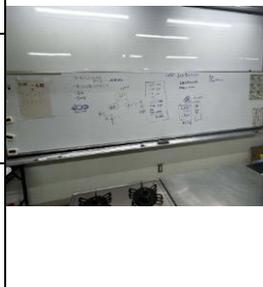
〈秋津公民館〉

項目			講座名
⑦	③	⑥	ほたる川清掃
日時			令和7年10月29日(水) 8時～11時35分
場所			ほたる川
対象			秋津小5年生(参加者数111人)
ねらい／内容			地域の方々と一緒にほたる川清掃や、川の生き物の観察を通して、これからも地域の宝である「ほたる川」をいろいろな世代が守っていくきっかけをつくる。また、この活動を通して多世代交流を図る。
参加者の反応感想等			子どもたちからは「カニやザリガニを見つけて楽しかった。」「大変だったけれど、きれいになったほたる川を見るとうれしい。」「来年もまたホタルが飛んでくれるといい。」「といった感想があった。地域の方々も、「子どもたちが来てくれると作業が早く終わって頼もしい。また来年も続けてほしい。』とおっしゃっていた。



〈五福公民館〉

項目			講座名
③	④	⑧	閻魔祭りカレー研修会
日時			令和7年8月6日(水) 午後5時～午後6時
場所			五福公民館料理実習室
対象			地域住民(参加者数7人)
ねらい/内容			地域の祭りにおいて自治会が提供する模擬店の一環として、カレーの調理・提供を行うのに合わせて、安全で衛生的かつ美味しいカレーを提供するため、自治会役員および関係者を対象に調理技術に関する研修会を開催した。
参加者の反応感想等			「カレーの基本的な調理で、大量調理の水の加減について知ることができた。」「閻魔祭りで学んだことを役立てたい」等の感想があった。一緒に学ぶことで参加者同士の対話の機会が深まり、地域の伝統が受け継がれていくことに貢献できたと思う。



〈幸田公民館〉

項目			講座名
	③		幸田フェス【まちづくり班との協働事業】
日時			令和7年11月2日(日) 午前10時～午後14時30分 全1回
場所			幸田公民館
対象			(参加者数 500人)
ねらい/内容			11月2日(日)に幸田公民館で、まちづくり班と協力して、地域の防災イベント「幸田フェス」を行った。防災ワークショップでは、ボランティアに応募した熊本農業高校生がペットボトルを使っての防災ランタンづくり、新聞紙で防災食器作り(皿)、防災避難用バッグに入れておく物クイズなどを行なった。防災カルタ大会では、小学校低学年の部、高学年の部に分かれてリーグ戦が行い 防災カルタは管内の小学校6年生や幼稚園児が作ったもの。読み手は、託麻中学校放送部の生徒が、聞きやすい声で読み上げていました。フェスの参加者は500人と多数だった。
参加者の反応感想等			高校生たちは、ボランティア募集の案内を見て申し込みました。「今までボランティアをしたことがなかったが、企画から運営まで、しっかりやり遂げることができた。」との感想が出された。「参加した小学生の目線でやさしく防災ランタンづくりができた。」等の感想が聞かれ、来年は、熊本地震発生から10年の年であり、身近な防災について次年度も開催してほしいとの意見も出された。



〈城南公民館〉

項目			講座名
①	③	④	城南町の民話を楽しむ
日時			令和7年4月20日(日)～3月15日(日) 午前10時～11時 全10回(予定)
場所			城南公民館 視聴覚室 *(6月のみ児童館)
対象			どなたでも(参加者数20～30人)
ねらい/内容			「じょうなん民話の会」が中心となり、城南町や周辺地域に語り継がれている伝承や逸話を会員相互で研鑽し発表している。毎回、それぞれの担当話を練習して、語りを中心に披露して継承に努めている。
参加者の反応感想等			城南町及び周辺の方々も地元の伝承・逸話に興味関心を持って聞き入り、地元の歴史に親しみ、郷土愛を育むことにつながっている。



〈城南公民館〉

項目			講座名
③	④	⑥	世界にひとつだけのまがたま作り
日時			令和7年7月5日(土) 午前10時～11時半 全1回
場所			塚原歴史民俗資料館 研修室
対象			小学生と保護者(参加者数15組)
ねらい/内容			地域の歴史文化財の再認識と地域人材活用を図り、資料館の職員と共同で「勾玉」づくりを実施した。身の回りの歴史や伝統等に触れる機会提供ができた。
参加者の反応感想等			南区にかかわらず、市内全域から参加者が集った。資料館で「勾玉」づくりを通して、城南町地域の古墳群の歴史や文化に触れ古代の学習を行った。参加者は身近な地域に歴史的で広大な古墳群や資料館があることを再認識されていた。



〈清水公民館〉

項目			講座名
③	⑤	⑦	クリスマス親子パン作り
日時			令和7年12月13日(土) 午前9時半～正午 (全1回)
場所			清水公民館 料理実習室
対象			小学生と保護者 (参加者数26人)
ねらい/内容			親子で一緒にパンを焼き、冬の心温まる思い出を作る講座を企画した。指導は生涯学習自主講座の「手作りパン講座」の講師に依頼した。
参加者の反応感想等			講師の指導を受けて、家族間で、他の家族とも交流しながら、和気あいあいとパンをこねて焼いた。パンのデザインは家族の工夫を取り入れていた。パンを焼き上げて試食した。「美味しかった」「いい思い出ができた」



〈大江公民館〉

項目			講座名
③	④	⑥	和楽器体験
日時			令和7年11月4日(火) 午前10時～正午
場所			出水南小学校
対象			小学5年生・教職員(参加者数140人)
ねらい/内容			日本の伝統文化である和楽器について学校で学ぶ中で、専門の演奏者による話を聞き、また楽器(琴、三味線、尺八)の演奏を鑑賞し、実際に触れて体験することで、和楽器に親しむとともに関心を高める。
参加者の反応感想等			専門の講師による演奏や講話及び指導により、児童にとっても新鮮でわかりやすく、和楽器を通して日本の音楽に興味関心を持つための貴重な機会となった。



〈富合公民館〉

項目			講座名
①	③	⑤	木原不動尊 散策 & 写経体験
日時			令和7年11月22日(土) 午前10時～正午 全1回
場所			天台宗 雁回山 長寿寺【木原不動尊】
対象			(参加者数 24人)
ねらい/内容			富合町が誇る日本三大不動である木原不動尊住職 角本尚隆 氏に講師を依頼した。前半を雁回山長寿寺の歴史と境内散策、後半に不動経の写経体験を行う。歴史的財産の紹介と散策、その後「不動経」の写経を体験することで、郷土理解を深めることが可能な講座として企画。
参加者の反応感想等			静かに佇む現地木原不動尊での散策と祈願体験、そして写経体験ともりだくさんな内容に「心がおだやかになりました」との感想を述べられました。「また、来年2月の大祭の折りにおとずれます」と約束されていました。3年目の実施であったが、老若男女の幅広い参加がありました。



〈西部公民館〉

項目			講座名
②	③	④	スマホ相談会
日時			令和7年4月26日(土)～(毎月第4土曜日) 午前10時～11時半
場所			西部公民館
対象			どなたでも(参加者数 毎月10人前後)
ねらい/内容			スマートフォンに関する悩み事についてお答えするもの。熊本西高等学校の生徒がボランティアとして活動している。(ボランティアの生徒数は毎回10人程度)高校生と高齢者との世代間交流を企図するもの。
参加者の反応感想等			定期的に開催することで講座への参加者も、ボランティアの生徒も取り組みやすいものになっており、常連になりつつある参加者もいる。



〈龍田公民館〉

項目			講座名
①	③	⑨	日本文化体験講座
日時			令和7年9月6日(土) 午後2時～4時 (全1回)
場所			武蔵塚公園 清靖亭
対象			外国の方(参加者数12人)
ねらい/内容			外国の方が増加している現状に対応し、外国の方に浴衣を着て抹茶を嗜んでもらう講座を行った。外国の方と地域住民との交流をねらい、浴衣の着付の講師を龍田公民館自主講座の着付講師を含め、「紡ぐ会(着付の学習サークル)」の方がおこない、抹茶のおもてなしを地域の小中学生がおこなった。
参加者の反応感想等			参加者は、家族で申し込んだ方が多く、家族や友人と一緒に写真撮影をしたり、清靖亭の庭を浴衣を着て、嬉しそうに歩いたりする姿が印象的だった。地域の小中学生もお茶をたてたり、干菓子を出したりするなど責任をもって役割を果たしていた。「作法は難しかったがよい経験になった。熊本でいろんな体験に挑戦したい」と参加者が感想を述べていた様子は、熊本新聞の記事にも取り上げられた。



〈天明公民館〉

項目			講座名
③	⑤	⑨	やさしい園芸講座
日時			令和7年4月16日・17日午後2時～4時
場所			天明公民館
対象			どなたでも
ねらい/内容			園芸を座学や実習で学び自宅を花や植物で綺麗にし生きがいや健康づくりにつなげる。また、園芸を通して地域住民どうしのつながりをつくり、交流の場とする。季節の花の種や苗を使って、綺麗に元気に育てるワンポイント実習や土づくりの基本的な知識を学ぶ。
参加者の反応感想等			家庭内での園芸に取り組む方が多く、日頃取り組むが上手くいかない点をお互いに出し合い、それぞれの工夫している点を共有することで、次に活かそうとする姿が見られた。



④人材やボランティアの養成・活用

- ・地域づくりの担い手になる人材育成に積極的に取り組むとともに、地域活性化に取り組む民間等の人材との連携・協働を図る。
- ・幼少期から地域の愛着を育む事業を展開し、参加した青少年や若年層を積極的に活用する。

〈飽田公民館〉

項目			講座名
④	⑤	⑨	手話講座
日時			令和 7年4月19日～6月28日(土曜日) 午前10時～正午 全10回
場所			飽田公民館 生活工房室
対象			どなたでも(参加者数147人)
ねらい/内容			市は、「手話が言語である」との認識に基づき、全ての市民が障がいの有無にかかわらず相互に人格と個性を尊重し合う共生社会を実現するため、「熊本市手話言語条例」を施行。公民館では、手話を広めるとともにさらに免許の取得と指導者としての人材育成をねらって講座を実施した。
参加者の反応感想等			10回の講座であったため、理解が深まり満足した感想が多く聞かれた。講座では、学びの後全員の前でそれを披露する場面が多々あり、緊張のなかで一生懸命に手話をされる姿があった。そういう中で自然と仲間意識もできてきた。手話の試験を目指そうとされる方もおられた。



〈北部公民館〉

項目			講座名
③	④	⑦	北部 おしゃべり・窓ふき隊
日時			令和7年(2025年)4月～令和8年(2026年)3月 全11回月1回(第3土) 午後1時半～3時半
場所			特別養護老人ホーム「くわのみ荘」または「かなこぎ苑」
対象			どなたでも(参加者数 各回8～19人)
ねらい/内容			「北部中学校JRC部」「北部高校生ボランティアサークルわいわいHVC」との協働で、高齢者施設やグループホームを訪問し、窓ふきや入所者との会話を通じて交流を深め、身近なボランティア活動の大切さを学び、地域に貢献する意識を高める。
参加者の反応感想等			高齢者施設で窓ふきをしたり、入所者の方々と話したりしてとても楽しかった。入所者の方々が喜んでくれるのが嬉しく、ボランティアは人を笑顔にできる活動だと感じた。これからも地域のためにできることを探して続けたいという感想が多かった。



〈秋津公民館〉

項目			講座名
⑤	④	③	花いっぱいクラブ
日時			毎月第1・3水曜日 午前9時～10時(1時間程度)
場所			秋津公民館敷地内
対象			どなたでも(参加者数約10人)
ねらい/内容			花や野菜を育てることを通じて人々の気持ちを豊かに、さらに景観を良くすることを目的としている。また、おしゃべりをしながら作業をしたり、作業後の休憩時間を楽しみに公民館を訪れた方々に喜んでもらうことをやりにしている。
参加者の反応感想等			参加者からは「毎回花いっぱいに来るのが楽しみ。」「朝からお花や野菜の世話をし、きれいな花が咲いたり、野菜の収穫をするのが生きがい。」「という声が聞かれた。公民館を訪れる方々からも「いつもきれいなお花が咲いていてとても気持ちが良いですね。」「といった声がある。



〈花園公民館〉

項目			講座名
①	④	⑥	親子陶芸体験 in 花園陶芸教室
日時			令和7年 4月27日(日) 午前9時～午前11時
場所			花園陶芸教室
対象			参加人数 10組
ねらい/内容			地域にある生涯学習施設である花園陶芸教室で行う親子講座である。本格的な窯や陶芸の道具についても知ることができ、オリジナルの作品を作ることができる。
参加者の反応感想等			親子で陶芸をするという機会は初めての参加者ばかりで、熱心にかつ楽しく講座に参加されていた。焼きあがった作品を展示したことで他の参加者の作品も参観することで、学びを広げることができていた。



〈五福公民館〉

項目			講座名
④	③		オカリナミニコンサート
日時			令和7年11月15日(土) 午後0時～午後0時半
場所			五福公民館ロビー(多目的スペース)
対象			(参加者数35人)
ねらい/内容			生涯学習自主講座の受講生が、日頃の学習成果を地域の皆さまに披露することで、学びの意欲を高めるとともに、地域との交流を深めることを目的とした。オカリナ演奏(生涯学習自主講座受講生による)。30分7～10曲。全員演奏と5人程度の演奏曲、独奏曲を披露してもらった。
参加者の反応感想等			企画・運営を講座生が主体となって取り組むことができていた。お客さんも楽しそうだった。集中して聞いていた。



〈五福公民館〉

項目			講座名
④	⑥		子どもチャレンジ公民館
日時			令和7年6月22日(日)~12月14日(日) 全16回
場所			五福公民館ホール、会議室、他
対象			大学生、児童(参加者数のべ396人)
ねらい/内容			・子どもたちが社会に必要だと思う講座を自分たちで企画し、実施する過程の中で、社会教育に触れる機会を創出する
参加者の反応感想等			感想には「最初は不安だったけど、会議を重ねるうちに楽しくなった。」「自分の考えたことが本当にできて嬉しかった。」などがあつた。6月からの取り組みの中で、子どもたちの表情がいきいきとしてきたのがわかった。小学生のプランナーの子どもたちは熊本大学メイクフレンズ学生の支援を受けながら、学校等ではできない貴重な交流機会を持つことができたと思う。また、学生たちも毎年の形を踏襲しながら、指導やかかわり方を熱心に学ぶことができたようだ。積極的に毎回参加できていた。



〈城南公民館〉

項目			講座名
①	④	⑨	心に寄り添う「傾聴」講座
日時			令和7年5月13日(火)~7月1日(火) 午後1時半~3時半 (全8回)
場所			城南公民館 視聴覚室
対象			どなたでも(参加者数7人)
ねらい/内容			多様性を受け入れ尊重していく近年、難しい人間関係を改善し、良好な人間関係を築くとともに、ボランティア養成の一環として心のケアもできるようになる「傾聴」姿勢を身につけた。講座の中で互いにロールプレイを通して実践的に体験しながら学んだ。
参加者の反応感想等			参加者は、日常生活において身近な人々と接する中で、常に心がけたい「姿勢」だと話されていた。日常でも、相手を温かく受容・共感・肯定的に聴く心を持って接していきたいと感じていた。



項目			講座名
①	④	⑤	茶摘みフットパス in 城南
日時			令和7年4月29日(火) 午前10時~午後1時 全1回
場所			城南町杉上地区
対象			どなたでも(参加者数31人)
ねらい/内容			城南図書館・児童館・公民館の共催及び城南地域ブランド力向上実行委員会「TEAM城南ワンダホー」と協力して、城南町の歴史と地域物産紹介を含めてフットパスを行った。メインは参加者で茶摘みを体験し、その茶葉を天ぷらにして食すことを通じて、城南町地域に親しんでもらった。
参加者の反応感想等			他の地域から申し込まれた参加者の方々にとっての城南町地域における歴史や特産物を含めた地域理解に貢献している。城南町は歴史的にも重要な位置であり、古くから伝統文化が育まれてきた経緯や地域に根差した特産物(蓮根や茶)等に感激されていた。



〈清水公民館〉

項目			講座名
①	④	⑥	おとなのためのおはなし会
日時			令和7年9月6日(土)19時～20時半
場所			清水公民館 ホール
対象			18歳以上の方(参加者数27人)
ねらい/内容			読み聞かせボランティア「清水おはなし会”ふしぎふしぎ”」による大人向けのおはなし会。7名でかわるがわるおはなしを披露された。成人向けに読み聞かせの素晴らしさを感じてもらいたいというねらいがある。おはなしを暗記し、技巧を凝らして話をされた。
参加者の反応感想等			「素晴らしいおはなし会だった」「長年続けておられて素晴らしい」「通算900回に向けて頑張っていたください」



〈大江公民館〉

項目			講座名
④	③	⑥	曲げわっぱで弁当箱づくり
日時			令和7年11月16日(日) 午前10時～正午
場所			大江公民館 A会議室
対象			小学生とその保護者(参加者数20人)
ねらい/内容			伝統的な曲げわっぱの技術を学び、弁当箱を親子で作ることをとおして食育への意識づけにつなぐとともに、木のぬくもりやにおいを直接感じ木製のものづくりへの関心を高める。
参加者の反応感想等			講師の実演には参加者が目をみはり感心していた。簡単のように見える曲げわっぱづくりも実際に取り組んでみるとなかなか難しく、作品が完成したときの満足感は忘れられないものとなった。



〈託麻公民館〉

項目			講座名
①	④	⑥	子どもチャレンジ公民館「なつまつり」
日時			令和7年7月27日(日) 午後1時～3時
場所			託麻公民館 ホール
対象			小学1～3年生(参加者数30人)
ねらい/内容			小学4～6年生のプランナーが熊本大学メイクフレンズの学生のサポートを受け、イベントを企画、準備をして、小学1～3年生のお客さんをもてなすイベント。プランナーの子どもたちは、目標に向かって仲間と協力しながら活動し、達成感を味わった。学生もサポートしながら成長していた。
参加者の反応感想等			いろいろなゲームができて楽しかった。また参加したい。今度はプランナーになってみたい。いろいろな学校の児童が集まっていたが、ルールを守って仲良く楽しく活動していた。



〈富合公民館〉

項目			講座名
①	④	⑤	大慈禅寺で坐禅体験
日時			令和7年6月22日(日) 午前10時～正午 全1回
場所			曹洞宗 大梁山 大慈寺【大慈禅寺】
対象			(参加者数 23人)
ねらい/内容			富合町を流れる緑川対岸に位置する地域としてなじみ深い大慈禅寺の副住職池田智道さんに講師依頼をし、坐禅堂において坐禅体験を行う。大慈禅寺の歴史を紹介し、坐禅の基本を教えてもらいながら実際に坐禅体験するという新企画講座。
参加者の反応感想等			厳かな大慈寺、現地で実施したため初めて訪れたという方々は思い思いに散策をされていた。講座では「坐禅の基本」というリーフレットを用意していただき、ありがたかったと感謝の気持ちを感想に綴られていました。今後もこのような講座を企画してほしいとの要望もありました。
			
項目			講座名
①	④	⑦	水辺のいきもの展示会2025
日時			令和7年8月2日(土)3日(日) 午前9時～午後5時 全2日
場所			富合公民館 研修室1・2・3
対象			(参加者数 300人)
ねらい/内容			八代水生昆虫同好会64追い人へ依頼し、3年目。2日間にわたり「淡水魚～水生昆虫の生体展示&解説」を依頼。会のメンバーである坂井氏が富合商工会青年部会員であり、自身の地元「富合」で育つ子どもたちへ水辺のいきものを知ってほしいという願いを形にしたもの。
参加者の反応感想等			幻の水生昆虫タガメや大型ゲンゴロウなどの生体を目の前にし、感嘆の声が聞かれた。子どもたちも目を丸くして見入っていた。2日目終盤のカブトムシ、クワガタのプレゼントに小さな子どもたちが大喜びしていた。SNS発信を聞きつけて関西からの参加者もあった。
			

〈南部公民館〉

項目			講座名
③	④	⑤	傾聴ボランティア養成講座
日時			令和 7年 9月17日～10月29日 水曜日 午前 10時～正午 全7回
場所			南部公民館 A会議室
対象			(参加者数 13人)
ねらい/内容			相手を尊重し、様々な思いに耳を傾けることで、相手の心の負担を少しでも軽くすることを目的とした講座である。自分の気持ちも楽になり、肯定的な考え方も得られる講座で、傾聴の基礎を学び、今後のボランティア活動に活かしていただくことを目的にしている。
参加者の反応感想等			仕事の関係上傾聴のスキルを高めたいと参加された方やご家族に高齢の方がいて、すぐに活用できる傾聴をやってみたいと思参加された方などさまざま、共に学ぶ意識のある方との交流は楽しいとの感想があった。
			

〈植木公民館〉

項目			講座名
④	①	③	植木の歴史探訪(田原坂周辺の戦い編)(ボランティア養成講座)
日時			5月11日(日)～9月21日(日) 午前10時～正午(全7回)
場所			植木公民館 視聴覚室
対象			どなたでも
ねらい/内容			令和9年度には西南戦争終結150年を迎えるにあたって、本年度は西南戦争に視点を当て(現地学習会も行う)、植木の歴史や史跡等を知っていただく。 ボランティア活動(田原坂観光ガイドの会)への理解を深めていただく。
参加者の反応感想等			<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問にも的確に答えていただき、西南戦争について多くのことが学べた。</li> <li>・画像や資料があり、とてもよく分かった。また、講師の方の歌もあり楽しかった。</li> <li>・若者にもPRして参加者の範囲を広めることを願いたい。</li> </ul>



〈西部公民館〉

項目			講座名
③	④	⑥	親子で和菓子づくり体験
日時			令和7年8月17日(土) 午前10時～正午 全1回
場所			西部公民館 調理室
対象			小学生とその保護者(参加者数12人)
ねらい/内容			西部公民館エリアでお菓子屋を営んでいる地域人材:浅井茂宏さん(現代の名工)を講師に迎え、和菓子づくり体験をすることで、伝統文化に触れてもらうもの。当日は水ようかんと練りきりの制作にチャレンジした。
参加者の反応感想等			ついつい大人の方が夢中になってしまうが、子どもと一緒に体験出来てよかった。との声をいただいた。



〈東部公民館〉

項目			講座名
②	④	⑧	中学生によるふれあいスマホ相談会
日時			令和7年8月22日 1回 14:00～16:30
場所			東部公民館 ロビー
対象			どなたでも
ねらい/内容			中学生から高齢者へスマホの操作を教える活動をきっかけに、世代間交流の機会をつくり、地域の若者と高齢者のつながりをつくることに寄与するとともに、共生社会について考える機会とする。また、中学生の積極的な社会参加を促す活動とする。また、地域のコミュニティづくりに寄与し、災害時の協働体制をつくる。
参加者の反応感想等			<p>中学生は、自分の知っていることが人の役に立つことがうれしかったということで懸命にスマホの操作について教え充実感を味わい社会へ貢献する姿勢を育てることができた。</p> <p>高齢者にとっては、地域の若い年代である中学生と接する機会ができたことにより、地域のつながりを感じることができた。</p>



〈龍田公民館〉

項目			講座名
④	⑨	③	はじめての手話②
日時			令和 7年11月8日(土)～令和8年1月24日(土) 午後2時～4時 全10回
場所			龍田公民館 A会議室
対象			18歳以上の方(参加者数 14人)
ねらい/内容			聴力に障がいをもつ方の暮らしについて学び、理解を深めると共に、手話を通して多くの方との交流をはかることをねらいとする。基礎的な手話について学びながら、聴覚に障がいをもつ方との触れ合いを通して交流の広がりを体験する。
参加者の反応感想等			初回講座の際、自己紹介で「手話講座に参加することを決めた理由」について共有することで互いを身近に感じ、アットホームな雰囲気の中、学習が進められていた。手話サークル「わかぎ」へ興味を示す方もおられた。



⑤健康づくりと生きがいの充足

- ・高齢者が健康で自立して暮らしていくための学習や活動、つながりづくりに取り組む。
- ・豊かな知識・技術・経験を有する高齢者の活躍の場や機会を創出する。

〈北部公民館〉

項目			講座名
②	③	⑤	健活教室
日時			令和7年(2025年)4月～令和8年(2026年)3月 全24回月2回(第2・4金) 午前11時～正午
場所			北部公民館 大会議室 ※ほか6会場でオンライン配信で実施
対象			65歳以上の高齢者 (参加者数約100人)
ねらい/内容			ささえりあ北部と共催で、オンラインを活用した体操教室を継続して実施し、転倒予防や認知機能低下防止などをねらいとして、地域の高齢者のフレイル予防に取り組む。
参加者の反応感想等			北部公民館をメイン会場に、他6会場をオンラインでつないで行った。自宅近くの最寄りの会場で参加できるため、『移動の負担が少なく続けやすい』『顔見知りと一緒に運動できて楽しい』『オンラインでも先生の動きがよく見える』など、参加者から非常に好評であった。



〈秋津公民館〉

項目			講座名
①	⑤	④	貯筋体操・ゆるっと筋トレ
日時			毎月第1・3土曜日 午前10時～11時
場所			秋津公民館 ホール
対象			どなたでも(参加者数30人)
ねらい/内容			自分の体重を負荷にした簡単な筋力トレーニングを行うことにより、足腰の筋力と柔軟性を向上させ、転倒しにくい体をつくることを目的としている。自宅でも続けることで、無理なく”筋力を貯められる”「貯筋運動」。年に数回ささえりああさひばに体力測定や健康に関する講話を入れてもらっている。
参加者の反応感想等			参加者からは「ここにきてみんなと一緒に運動したり、先生や仲間とおしゃべりするのが楽しみ。」「貯筋体操の先生は80歳を超えているが、これからもずっと続けてほしい。」「『ゆるっと筋トレ』は貯筋体操に比べると少しきついけど、どちらも受けたい。」という声が聞かれた。



〈河内公民館〉

項目			講座名
⑤	⑥	⑨	生きがい学級～ニュースポーツを楽しもう～
日時			令和7年8月7日(木) 午前 時～正午 全1回
場所			河内公民館 多目的ホール
対象			(参加者数31人)
ねらい/内容			主に河内地区の高齢者の「生きがいづくり・健康増進」や「社会参加の促進」に役立つ学習の場とすることをねらいとしている。ポッチャとモルックを行ったが、今年度は7人の小学生ボランティアも参加し、多世代交流の場ともなった。
参加者の反応感想等			参加された高齢者の方々は、子どもたちと交流し、とても嬉しそうだった。ボランティア参加の小学生も、運営を手伝ってくれる姿はとても頼もしく、保護者からは「とても良い経験でした」との感想があった。



〈花園公民館〉

項目			講座名
①	④	⑤	本妙寺ポールウォーキング
日時			令和7年 5月31日(土) 午後2時～午後4時
場所			花園公民館ホール・館外(本妙寺)
対象			参加人数 20人
ねらい/内容			健康増進と花園公民館周辺の地域の歴史への見識を深めるための講座である。ホール内でポールの使い方を学習後、実際にポールを使用して、本妙寺への参道を歩く。
参加者の反応感想等			健康増進への意識の高い参加者であったため、参加者同士の会話や交流が盛んに行われていた。初めて本妙寺を見る参加者も多く、その歴史についても学びを深めることができていた。



〈花園公民館〉

項目			講座名
③	⑤	⑧	シニア男子のかんたん料理教室
日時			令和7年 12月4日(木) 午前10時～正午
場所			花園公民館 料理実習室
対象			参加者数 7人
ねらい/内容			高齢男性の健康と料理への意欲を高める講座である。栄養士である講師の先生から健康的な料理(1食分の食事)を学ぶことができる。
参加者の反応感想等			自分一人ではなく、グループで料理をすることで、会話をしながら和やかに料理を行うことができた。食事の際には思わず笑顔で会食を楽しむ姿も見られた。



〈五福公民館〉

項目			講座名
⑤	③		プールに行こう～水中運動で筋力アップ
日時			令和7年8月19日(火)、22日(金) 午後1時～午後2時半 全2回
場所			五福小学校プール
対象			市民(参加者数24人)
ねらい/内容			健康の維持増進、プールの利用促進を狙いとした。フレイル対策としての水中での運動を実施した。
参加者の反応感想等			「プールが利用できることを知らなかった。活用したいと思った。」「水中で運動するのが面白かった。」等の感想があった。みんな熱心に体操に取り組んでいた。



〈幸田公民館〉

項目			講座名
	⑤		フラメンコ
日時			令和7年5月24日(土)～6月26日(土) 午後6時～午後8時 (全5回)
場所			幸田公民館 ホール
対象			(参加者数 23人)
ねらい/内容			フラメンコの楽しさを体験し、身体を動かすことの良さ実感する事をねらいとし、フラメンコの楽しさと発祥の国であるスペインの国際理解を促すもの。参加は、土曜日の夜の講座ということもあり、現役世代の参加が多く、中には幼児・小学生の参加も見られ、全5回で1曲の踊りを完成した。
参加者の反応感想等			参加者は、「フラメンコの踊りも楽しかったし、1曲で覚えることが出来、達成感も得られたとの感想が出された。なかまづくりも出来たので、参加して良かった。仕事をしている現役世代として夜の開催は参加しやすかった。来年度からは生涯学習自主講座として、月2回定期的に活動されることになった。



〈幸田公民館〉

項目		講座名
⑤		時短料理教室
日時	令和8年1月23日(金) 午前10時～正午 全1回	
場所	幸田公民館 料理実習室	
対象	(参加者数 18人)	
ねらい/内容	講師は、調理栄養士の資格を持つ方に依頼し実施した。多忙な時間を過ごす現代人においての健康管理の基となる料理を短時間で栄養価の高い料理にする機会として開設した。	
参加者の反応感想等	参加理由は、「時短料理に興味があったから」「活用方法・レシピを知りたい」「新たな理を覚えたい。が挙げられる。「料理がとても美味しかった。」や、「簡単に作れたので、また家で作ってみたい」との感想がだされた。	



〈城南公民館〉

項目		講座名
④	⑤ ⑥	キッズトランポリン体操教室
日時	①令和7年5月4日(日) 午前10時～10時50分 全1回 ②令和8年1月18日(日) 午前11時～11時50分 全1回	
場所	①城南児童館・②火の君文化センター内リハーサル室	
対象	①幼児35人・小学生15人 ①幼児10人・小学生12人	
ねらい/内容	幼児・児童・こどもたちの体を動かすことの楽しみ方の1つをトランポリンを通して教えていく。空中遊泳感覚を楽しみながら、同時に「体幹」も鍛えることができ、運動が苦手なこどもでも楽しむことができる活動を紹介している。	
参加者の反応感想等	毎回定員数を大幅に超える申し込みがある大人気の講座である。よって一人1分前後の5～7セットの輪番体験ではあるが、参加者みんなトランポリンの魅力に取りつかれて楽しんでいる。他の運動とは異なる空中感覚が楽しいと語っていた。	



項目		講座名
④	⑤ ⑥	新聞 de ANIMALS！～新聞紙が動物に変身～
日時	令和7年9月14日(日) 午前10時～11時半 全1回	
場所	城南公民館 大学習室	
対象	小学生と保護者(参加者数10組[大人6人・こども6人])	
ねらい/内容	こどもの創造性とアイデアを新聞紙造形に活かす活動として実施した。身近にある新聞紙とセロハンテープを使用して、講師の模範物を参考にしながら躍動感あふれるお気に入りの動物や恐竜等を新聞の濃淡を上手に駆使して造形を試みた。	
参加者の反応感想等	こどもの限りない創造性に任せて自由に創作させた造形物は素晴らしく、保護者もこどもたちの創作物に感激していた。また身近な新聞とテープで取り組むことができる再発見に、こどもたちはさらに家で新たな作品作りに挑戦したいと語ってくれた。	



〈城南公民館〉

項目			講座名
①	④	⑤	はじめてのレク・ダンス
日時			令和7年6月11日・18日・25日(水) 午前10時～11時半 全3回
場所			火の君文化センター内 リハーサル室
対象			どなたでも(参加者数10人)
ねらい/内容			主催講座として実施して地域の方々へ活動紹介することで、生涯学習自主講座への独立活動支援として行った。市内一円からのシニアの参加があり、曲に合わせてダンスをしたり体を動かすことを通して健康保持増進を図った。
参加者の反応感想等			参加者は無理のない優しい曲に合わせたダンス活動を通して心地よい汗をかき、日常の運動の大切さや健康保持増進への関心を深める契機になっている。主催講座を体験して、日々の活動として継続したいと生涯学習自主講座に入会される方もいた。
			
項目			講座名
④	⑤	⑥	ママとあかちゃんの手づくりソーイング
日時			令和7年6月20日(金)・27日(金) 午前10時～正午 全2回
場所			城南公民館 大学習室
対象			あかちゃんとおかあさん(参加者数10人)
ねらい/内容			子育てママを中心に、あかちゃんへの布製手づくり「おもちゃ」を製作する。今年度は「ガラガラ音おもちゃ」を製作した。また、あかちゃんがぐずった場合は、おかあさんが製作活動に専念できるように、託児を共催の児童館と子育て支援センター職員が担った。
参加者の反応感想等			託児を任せることで、集中した活動ができ、またいつかの子育てから解放され、おかあさん同士の語らいのもと製作活動する時間が確保できた。裁縫を通して自作のおもちゃを製作する過程も満喫して、完成品に成就感を抱き喜んで持ち帰っていかれている。
			
項目			講座名
①	④	⑤	心を伝える絵手紙講座
日時			令和7年7月10日(木)～25日(金) 午後1時半～3時半 全4回
場所			城南公民館 大学習室
対象			どなたでも(参加者数13人)
ねらい/内容			「へたでいい! へたがいい!」をコンセプトに、季節の野菜・果物、小道具等を題材にしたオリジナル創意あふれる筆書き絵葉書を作成する。
参加者の反応感想等			同じ題材をもとに作成しても、それぞれに味がある絵葉書作品になり、参加者みんな成就感を持たれていた。作品をお孫さんや知り合いに実際に葉書として郵送しますと喜ばれる方も多く、これからも各自個人の趣味として広げていきたいと話されていた。
			

〈城南公民館〉

項目			講座名	
①	④	⑤	はじめての「金継ぎ」～SDGsの取り組み～	
日時			令和7年11月29日(土)・30(日) 午前10時～11時半 全2回	
場所			城南公民館 工芸室	
対象			どなたでも(参加者数13人)	
ねらい/内容			<p>日常における器や食器類の損壊物を自分の手で修復することを通して、SDGs目標(12:つくる責任・つかう責任)に関連して、大切に再利用する態度育成及び環境問題(14:海の豊かさ、15:陸の豊かさ)につながることを意識づけながら活動を楽しんでいる。</p>	
参加者の反応感想等			<p>いまだに熊本地震で実際に欠けた花瓶や皿等を持参される方も多く、まがいではあるが「金・銀」で修復する作業を通して物の大切さと再利用する喜びを実感されていた。代々の家宝や形見の器がもとの姿によみがえったと、感激されてる方もいた。</p>	
項目			講座名	
③	④	⑤	挑戦! バジフル・アート～野菜とフルーツdeクリスマス置物の創作～	
日時			令和7年12月18(木) 午前10時～正午 全1回	
場所			城南公民館 調理室	
対象			どなたでも(参加者数5人)	
ねらい/内容			<p>地産地消の概念のもと、地元や里のフルーツを使用して創作物(クリスマスの置物)づくりを試みた。「見て・楽しんで・食す」を提唱する講座で、創作後には使用した野菜等で料理して食するまでを過程とするSDGsや食品ロス削減の観点から、その料理レシピも講師模範のもと提案・紹介している。</p>	
参加者の反応感想等			<p>講師模範のもと、各自創造性に任されて野菜やフルーツで美しく出来上がったクリスマスの置物に満足されていた。食品ロス削減に取り組みながら、さらに自ら家庭で創作したいと積極的な参加者も多くいた。また創作物を料理レシピに従って作り、最終的に食することを楽しみにされている参加者も多くいた。</p>	
項目			講座名	
①	④	⑤	大人のためのペン習字教室	
日時			令和7年12月5日・12日・19日(金) 午後1時半～3時半 全3回	
場所			城南公民館 視聴覚室	
対象			どなたでも(参加者数7人)	
ねらい/内容			<p>現在のデジタル社会において、実際にペンや筆を用いた文字書きは疎くなってきている。今回は年賀状書きを目的に、講師のお手本を模範として練習・清書書きを試みた。最終回は、ペン習字の作品作りを行い、お互いに鑑賞し合った。</p>	
参加者の反応感想等			<p>文字書きだけでなく「ひらがな」の文字の成り立ちや意味等を学び、気持ちを込めて書くペン習字を満喫した。日頃からメールやパソコンで便りを出し合う環境に、ふと立ち止まり実際にペンを持って「文字」を書く嬉しさとしらに充実感を抱くと同時に、各個人の個性ある文字の再認識として見つめ直す時間になった。</p>	



〈大江公民館〉

項目			講座名
⑤	③	④	大道芸でつながろう
日時			令和7年7月19日(土) 午前10時～正午
場所			出水南校区4町内公民館
対象			出水南校区4町内老人クラブ(参加者数30人)
ねらい/内容			出水南校区4町内老人クラブの要望により、生涯学習自主講座の講師と講座生が、大道芸をとおして交流し、互いに懐かしい思い出のひとつを楽しむ時間を過ごすことができた。
参加者の反応感想等			参加者にはたいへん喜んでいただき、楽しく懐かしい時間が過ごせたと好評で、講座の皆さんに感謝しておられた。また是非開催してほしいとの意見が多く出された。



〈託麻公民館〉

項目			講座名
③	⑤	⑥	夏休み こどもハンドメイドクラブ
日時			令和6年7月31日(水)、8月7日(水) 午前10時～正午 (全2回)
場所			託麻公民館 会議室
対象			小学生(参加者数15人)
ねらい/内容			生涯学習自主講座の講座生が講師となり、普段の活動の成果を活かし、こどもたちにもものづくりの楽しさを教える。事業参画への意識向上や地域貢献を促すもの。参加したこどもたちは、好みの素材を選び、世界で一つだけのブックカバーを製作した。
参加者の反応感想等			笑顔のあふれる講座になった。講師である講座生とこどもたちの会話もはずみ、世代間の交流を図ることができた。最後には、完成したブックカバーを手に、満足げな表情を浮かべていたこどもたちであった。

項目			講座名
④	⑤		ゆっくり筋トレ
日時			令和7年9月2日、9月30日、10月7日、10月21日(全て火曜日) 午後1時半～3時 (全4回)
場所			託麻公民館 ホール
対象			(参加者数 のべ119人)
ねらい/内容			医学的根拠に基づく4秒ゆっくり筋トレをもとに、自分の身体と向き合い、楽しく健康な身体作りを行う。家でもできる筋トレなどを学び、体力づくりのための一助となった。主催講座で指導者の助けとなるボランティア育成もでき、一般団体の立ち上げもできた。
参加者の反応感想等			簡単そうに見える動きでも、やってみるとなかなか難しい。できることが増えたり、より長い時間できるようになったりすることが嬉しい。楽しく活動でき、自分の筋力アップが感じられてとても満足している。



〈南部公民館〉

項目			講座名	
③	⑤	⑥	夏休み こどもハンドメイドクラブ	
日時			令和6年7月31日(水)、8月7日(水) 午前10時～正午 (全2回)	
場所			南部公民館 会議室	
対象			小学生(参加者数15人)	
ねらい/内容			生涯学習自主講座の講座生が講師となり、普段の活動の成果を活かし、こどもたちにもものづくりの楽しさを教える。事業参画への意識向上や地域貢献を促すもの。参加したこどもたちは、好みの素材を選び、世界で一つだけのブックカバーを製作した。	
参加者の反応感想等			笑顔のあふれる講座になった。講師である講座生とこどもたちの会話も はずみ、世代間の交流を図ることができた。最後には、完成したブックカバーを手に、満足げな表情を浮かべていたこどもたちであった。	
項目			講座名	
①	③	⑤	教養講演会「そがみまこ童謡コンサート」	
日時			令和 7年 9月 7日(日) 午前 10時～正午 全1回	
場所			南部公民館 ホール	
対象			どなたでも(参加者数 100人)	
ねらい/内容			昭和100年の今年に、懐かしい昭和の曲やお耳なじみの童謡、唱歌などをお届けします！童謡に触れることで、小さなお子様から大人までどなたでも楽しめるコンサートです！年齢や障がいなどに関係なく誰でも参加できる講座を企画した。	
参加者の反応感想等			馴染み深く懐かしい童謡を披露すると、参加者の方たちは童心に返り、一緒に歌ったり、手を振ったり、立ち上がったりと本当に心から喜んでいました。	



〈植木公民館〉

項目			講座名	
⑤	⑨	①	エンジョイ健康づくり	
日時			5月8日(木)・15日(木)・22日(木) 午前10時～正午(全3回)	
場所			植木公民館 多目的ホール	
対象			50歳以上の方	
ねらい/内容			50歳以上の方を対象として、いつまでも健康な生活を送るために、健康体操をおとして心と体の免疫力をアップしていただく。 また、この講座で身につけたことを地域活動にも生かし、健康で明るい地域づくりに貢献していただく。	
参加者の反応感想等			・いろんな講座がありびっくりしています。また、発表会や展示会時に素晴らしい作品に圧倒され、自分を奮い立たせる機会にもなっています。 ・老人向けの講座があれば、できるだけ参加したいと思います。	

〈西部公民館〉

項目			講座名
③	④	⑤	池上校区第3町内老人クラブ「健康脳トレ体操」
日時			令和7年7月22日、10月14日、11月4日、25日、令和8年1月13日、2月24日(火) 午前10時～11時 全6回
場所			池上老人憩の家
対象			池上校区第3町内老人クラブ
ねらい/内容			昨年度から、生涯学習自主講座の講座生が、老人クラブの運営を行うことになり、公民館に協力を求められ企画した講座。講師にも生涯学習自主講座の講師を紹介した。高齢者にとって取り組みやすい「脳トレ体操」を行うことで、地域の方の参加を促している。
参加者の反応感想等			家の近くの施設でやってくれるのでありがたい。とても楽しい講座で、頭も体もたくさん動かすことができた。公民館にご協力いただけて助かる。次年度もぜひ継続していただきたい。といった感想があった。



〈中央公民館〉

項目			講座名
④	⑤		ポールウォーキング
日時			令和7年11月14日・28日・12月12日・26日 金曜開催 午前10時～正午 全4回
場所			中央公民館7Fホール・館外
対象			成人
ねらい/内容			歩き方や運動強度・頻度・時間等について講師から学び、ポールウォーキングを実際に体験することで、受講生の健康維持や生活習慣病の予防等を推進する機会を設けた。
参加者の反応感想等			歩行前の準備運動(体のほぐし方やマッサージ・ストレッチ)から大好評であった。また現役アスリートからの指導内容はとても具体的で、毎回たくさんの方が受講されていた。館外ウォーキングは季節や街の風景を直に感じる機会となっており、たのしく参加されていた。



〈東部公民館〉

項目			講座名
③	⑤	⑨	ゆっくり筋トレ
日時			令和7年11月6日・20日、12月4日・18日 全4回10:00～11:30
場所			東部公民館 ホール
対象			どなたでも
ねらい/内容			家庭で気軽にできる筋トレメニューを学び、筋力低下を予防するとともに、高齢になってもより高い生活の質の向上、維持を図る。 継続することができ、気軽にできる筋トレメニューを体験することにより、自分の体調を見つめ関心を高める機会を設けるとともに、同じ意識を持ったコミュニティの形成を図る。又、自分の身体を通して感じたことが他者を思いやる気持ちにつながることをねらいとしている。
参加者の反応感想等			普段動いていないだけあって筋トレメニューはきつく感じた。ただ、同じ目的を持ったたくさんの方の受講生や先生に励まされることにより頑張ることができた。 運動習慣の大切さと、継続への意欲を高めることができた。

〈龍田公民館〉

項目			講座名
⑤	③		男性シニア料理～手作りお節に挑戦～
日時			令和7年12月14日(土) 午後1時～4時 全1回
場所			龍田公民館 調理実習室
対象			60歳以上の男性(参加者数 13人)
ねらい/内容			シニア世代の男性にとって、調理の技術を学び、自分の食事を賄うことは、自身の健康維持と美味しい食事を味わう喜びにつながる大切な時間である。お節料理を手作りすることで、新年を祝う気持ちを体験する。
参加者の反応感想等			講師の優しく親切な指導に、とても感謝されていた。今年度2回(7月、12月)実施したが、回数を増やしてほしいと要望がある。ご本人だけでなく、家族の方が申し込まれるケースも数件あった。



〈天明公民館〉

項目			講座名
①	③	⑤	つまみ細工で小物づくり講座
日時			令和7年12月11日(木)午後2時～4時
場所			天明公民館
対象			どなたでも
ねらい/内容			つまみ細工は日本の伝統工芸のひとつで、初心者からでも取り組みやすく、地域の人の健康づくりや生きがいにつながることをねらい企画。
参加者の反応感想等			お正月飾りになるような、可愛い小物ができてとても満足されていた。色や形など制作したひとりひとりの個性が出た作品が完成できた。



⑥家庭教育と青少年健全育成の支援

- ・家庭教育に関して、親同士の学びあいを促進する。(家庭教育学級ほか)
- ・子どもが主体となるような様々な体験活動の場を設け、異年齢の子ども同士の交流を図る。
- ・地域特性に応じた文化・自然・社会体験を含む学習機会を、すべての子どもたちに提供していく。

〈北部公民館〉

項目			講座名
③	⑥	⑦	ほくぶ家庭教育学級合同学習会 講話「こどもの課題・おやの課題」
日時			令和7年(2025年)7月5日(土) 午前10時～正午
場所			勤労青少年ホーム(北部東分館)講習室・談話室
対象			ほくぶ家庭教育学級学級生、各学校校長、PTA会長
ねらい/内容			臨床心理士による講話『こどもの課題・おやの課題』を聴き、児童生徒の現状や課題を理解し、学校や家庭での適切な対応の見通しを持つことで、子どもと保護者双方が安心して成長できる環境づくりを目指す。
参加者の反応感想等			臨床心理士の講話を通して、こどもの課題や親の課題について理解が深まり、学校や家庭での対応のヒントを得られた。こどもとの関わり方を見直したいという感想が多かった。



〈飽田公民館〉

項目			講座名
①	④	⑥	夏休み！お茶席体験講座
日時			令和7年8月3日(日) 午前10時～正午 全1回
場所			飽田公民館 和室
対象			小学生(参加者数10人)
ねらい/内容			日本の伝統文化である茶道を子どもたちに伝え、日本文化を理解し日本国民として誇りをもってほしいと公民館の利用団体から講座開催の依頼があったため実施した。公民館としては、世代間交流や指導者としてのスキルアップなどもねらって行った。
参加者の反応感想等			初めての参加子どもがほとんどで、緊張したなかで始まったが、親切に指導される講師の方々のおかげで次第にやわらぎ難しい所作もマスターしてお茶を楽しんでいた。



項目			講座名
⑤	⑥	⑦	ヤマガラビレッジで木工クラフトづくり！
日時			令和7年11月15日(土) 午前13時半～15時半 全1回
場所			ヤマガラビレッジ(金峰山自然の家)
対象			飽田東小学校の家庭教育学級生(参加者数 30人)
ねらい/内容			親子で自然物の創作活動を通して、創造性をはぐくむとともに、親子のふれあい及び他家族との交流の場とした。企画・運営を学級委員も行うことでリーダーとしてのスキルアップを公民館としてのねらいのひとつである。
参加者の反応感想等			真新しい施設の中で、木を輪切りにしペンで色をつけて世界で一つだけのキーホルダーを作って大喜びだった。参加された保護者の方もそんなこどもの姿を喜ばれていた。運営した学級委員も、緊張したが成功して良かったと満足そうにされていた。



〈秋津公民館〉

項目			講座名
④	⑥	⑤	秋津小家庭教育学級「親子料理教室」
日時			令和7年7月31日(木) 10時～13時
場所			秋津公民館 調理室
対象			秋津小家庭教育学級生(参加者数大人8人、子ども8人)
ねらい/内容			地域の食生活改善委員の方に講師として来ていただき、子どもができる料理(夏休み)を親子で学んで楽しむことをねらいとし、お米の炊き方や野菜の皮のむき方、切り方、そして後片付けまで親子で行った。
参加者の反応感想等			包丁を持つ手にハラハラしましたが、親は温かい目で子どもたちを見守りました。子どもたちからは、「楽しかった！」「美味しかった！」という声があがっていました。夏休みに自分たちでごはんを作りたいと意欲に燃えている子もいました。とても楽しく、子どもたちの自主性も見受けられて子の成長を感じられた会になったと思います。



〈花園公民館〉

項目			講座名
⑤	⑥	⑨	教養講演会「パリ五輪400mハードル日本代表 筒江海斗 選手 講演会」
日時			令和7年 1月18日(日) 午前10時～正午
場所			花園公民館ホール
対象			参加者数 84人
ねらい/内容			パリ五輪400mハードル日本代表である筒江海斗選手の講演である。オリンピック出場までの軌跡や、オリンピックでの出来事などから学ぶことができる。
参加者の反応感想等			筒江選手の母校である熊本西高校から多くの学生が参加しており、後半のトークセッションではたくさんの質問があった。加えて、遠方からこの話を聞きに来た熊本西高校陸上部の卒業生から熱い感想もあり、会場全体が感動に包まれていた。



〈五福公民館〉

項目			講座名
⑥	⑦		夏休み遊びの会～慶徳小学校おでかけ公民館講座
日時			令和7年8月5日(火) 午前9時～正午
場所			慶徳小学校1階フリースペース
対象			(参加者数25人)
ねらい/内容			友達や家族の気持ちを読むには何が必要か、表情や声、目の動きを読み取るワークショップを実施。
参加者の反応感想等			子どもたちからは「面白かった。」、「ゲーム形式で体験して、相手の心が少しわかるようになる練習になった。」、保護者からも「コミュニケーションに取り入れていきたい。」と感想があった。



〈幸田公民館〉

項目			講座名
③	⑥		新聞紙で動物を作ろう
日時			令和7年6月22日(火) 午前10時～正午 (全1回)
場所			幸田公民館 ホール
対象			小学生(参加者数32人)
ねらい/内容			講師は、東耕平さん(彫刻家)に依頼し、こどもたちにもものづくりの楽しさを教える。手づくりの良さや環境への意識向上を目指すもの。参加したこどもたちは、自分が作りたい動物等を製作した。
参加者の反応感想等			材料が新聞紙で安価で作れて、様々な動物になることで興味あふれる講座になった。親子や兄弟での参加も多数あり、ふれあいもできた。作った作品はお持ち帰りし、満足げな表情を浮かべていた。



〈幸田公民館〉

項目			講座名
⑥			ベビーからのイングリッシュ(乳幼児・幼児)
日時	令和7年5月22日6月12日19・26日(木) 午後1時30分～午後2時15分 全4回		
場所	幸田公民館 和室		
対象	(参加者数20人)		
ねらい/内容	講師は熊本市在住の外国人講師をお願いした。こども文化会館で行われている「ベビーからのイングリッシュ」講座の参加人数が多く、なかなか受講できない、自宅から近い場所で受講したい。との希望が多く開設した。0歳～1歳の乳幼児対象と1歳～3歳未満の幼児対象の英語講座を年2回、全4回シリーズで実施した。共生社会に向けて、幼い頃から、英語にふれる機会を提供し、これからの子育てに役立てられること、親子の絆を深める事をねらいとして開設した。		
参加者の反応感想等	音楽やテンポのよいリズムに合わせて講座がおこなわれ、参加者は英語表現や身体表現をたのしんでいた。「生きた英語を体感する機会となり、楽しくてよかった。来年も開いてほしい。」との声が多数出された。		



〈城南公民館〉

項目			講座名
①	⑤	⑥	あかちゃんといっしょ！ ふれあいサロン
日時	令和7年4月22日(火)～令和8年3月24日(火) 午前10時半～11時半 全10回(予定)		
場所	城南公民館・児童館・図書館		
対象	あかちゃんと保護者(参加者数各月10組～15組)		
ねらい/内容	毎月、あかちゃんと保護者に関する子育てのテーマにそった講座を児童館・図書館共催で実施している。「ベビーマッサージ」「あかちゃんのお口ケア」「リトミック」「産後ケアエクササイズ」「親子遊び」「保育園・幼稚園の先生の話」「骨盤底筋トレーニング」「ベビー薬膳」等を行っている。		
参加者の反応感想等	それぞれにあかちゃんから幼児に至る子育てテーマでサロンを開催しており、実践的な話や体験をもとに活動しているので「非常に役立っている」と参加者のお母さんたちは話している。またおかあさんたちの集いが互いの子育ての悩みなどを語る機会にもなっている。		

項目			講座名
①	⑤	⑥	はじめてのキッズダンス
日時	令和7年7月12日(土)～10月25日(土) 午前10時～正午 全10回		
場所	城南公民館 リハーサル室 *(最終日1日は「アスパル富合」)		
対象	小学生(参加者数16人)		
ねらい/内容	人間関係づくりから互いのコミュニケーション力を高めて、1つの創作ダンスを創造していく過程を体験していった。また成果を舞台発表につなげて、達成感や充実感を通して、仲間意識の向上や自己肯定感を養っていった。		
参加者の反応感想等	回数を重ねていくうちにお互いを知り、仲間意識を高めながらダンス創作に取り組んだ。踊りが上達する実感や喜び及び体を使った表現活動を楽しんでいた。最終回は、イベントとからめた大勢の観客がいるホールでの披露に、こどもたちは満足していた。		

〈城南公民館〉

項目			講座名
①	④	⑥	キラキラ万華鏡づくり
日時			令和7年12月7日(日) 午前10時～正午 全1回
場所			城南公民館 学習室4
対象			小学生(参加者数7組[大人9人・こども13人])
ねらい/内容			環境問題をテーマに、各家庭から出される日常の廃材やゴミを活用して、美しく見える「万華鏡」づくりに取り組んだ。SDGsのコンセプトをもとに、ゴミを減らす日常生活の取り組みや常に環境を視野に入れた行動のあり方を振り返った。
参加者の反応感想等			万華鏡づくりを通して、日常において出されるゴミ類の再利用・再活用及びゴミを減らしていくことの大切さや他動物や植物との共存、地球の環境保全に努めていくことの大切さを感じていた。これから、少しずつ学びを行動や実践的な態度につなげていく姿勢につながればと感じた。



〈大江公民館〉

項目			講座名
⑥	①	④	足育講座
日時			令和8年1月16日(金) 午前10時～正午
場所			帯山小学校
対象			保護者(参加者数20人)
ねらい/内容			足の発達や扁平足等に関するトラブルについて、ナースパワーアリーナからの講師による講話と、予防改善につながる運動を組み合わせてケアを行うことにより、正しい体づくりのサポートに役立てる。
参加者の反応感想等			足育講座で学んだ内容は、足の発育に重要なことで、幼少期からのケアに生かすことができるため、自分のためだけでなく子育てにも役立たせることができとても有意義だった。



〈託麻公民館〉

項目			講座名
⑥	⑦	⑨	家庭教育学級合同講演会「子どもにどう伝える？性の悩み～親から学ぼう包括的性教育～」
日時			令和7年6月27日(金) 午前10時～正午
場所			託麻公民館 ホール
対象			(参加者数 32人)
ねらい/内容			家庭教育学級生から性教育について学びたいと要望があった。家庭の中でどのように性教育を行っていけばよいのかについて、親が学んで実践していこうとするための講演会(講師:NPO法人せいしとらんし熊本 柴崎彩智子さん)家庭教育学級生だけでなく地域の小中学生の保護者にも参加を呼び掛けた。
参加者の反応感想等			今まで悩んでいたことが解消した。子どものことを成長の途中だととらえられるようになった。性教育という構えていたが、生きるため自分の心と体を大切にすること、愛情をはぐくむことと分かった。プライベートな話と科学的な話を分けて教えることが参考になった。



〈富合公民館〉

項目			講座名
③	④	⑥	親子で！おもしろスポーツ体験
日時			令和7年4月19日(土) 午前10時～正午 全1回
場所			富合公民館軽運動室
対象			(参加者数 親子4組)
ねらい/内容			新年度スタートのこの時期に、親子の触れ合い講座を企画することで、親同士のつながりをつくることをねらい、家庭の教育力アップにつなげる。ニュースポーツの指導者と使用する道具も用意できるパッケージプログラムを提供していただける明治安田生命とコラボした講座の実施。
参加者の反応感想等			上記のねらいとは裏腹に、保護者の方々も多忙な時期であり、想定を下回る申込状況だった。そんな中、4組の親子は心地よい汗をにじませ、満面の笑顔でニュースポーツにいそしんだ。本講座の詳細については雑誌「社会教育」から取材を受け、4ページにわたり取り上げられた。
項目			講座名
①	④	⑥	新幹線車両基地見学2025
日時			令和7年4月23日(水) 午前10時～正午 全1回
場所			熊本総合車両所
対象			(参加者数 20人)
ねらい/内容			富合町に立地する熊本総合車両所の親子見学ツアー講座として実施。最大受け入れ数である10組を募集により取りまとめ、団体見学として申し込んでいる。車両所では、平日水曜日のみの実施と限定されており、富合公民館から親子ともども片道徒歩で15分ほどかけて往復する。
参加者の反応感想等			車両所まで歩くのを楽しみつつ移動し、車両所の担当の方々には映像や新幹線車両内でのおもてなしをしてくださるので対象である未就学の子どもたちは車内放送の体験などを満喫していた。親子写真や記念写真を撮ることもできて大満足の2時間だったとアンケートに記載されていた。



〈南部公民館〉

項目			講座名
⑥	⑦	③	家庭教育学級「和菓子作り体験」
日時			令和7年11月30日(日) 午前10時～正午 全1回
場所			南部公民館 BC会議室
対象			(参加者数 25人)
ねらい/内容			日吉東小学校の家庭教育学級で、地域の伝統文化、技に触れようということで開催した。和菓子作りは、単なるお菓子作りとは異なり、日本の伝統文化が触れ合える体験になった。なかなかみることのできない熟練の職人技を間近で見ることができるといふ貴重な体験ができた。
参加者の反応感想等			とても分かりやすく教えていただき、みんな思い思いのものを楽しく作れました。教えていただいたみかん、椿、こどもたちの創作で大変盛り上がりしました。



〈植木公民館〉

項目			講座名
⑥	⑨	⑦	おでかけ公民館講座 「おたがいのよさを認めあえ助けあえる学校、そして社会へ」
日時			9月27日(土) 午前9時～午前10時半(全1回)
場所			桜井小学校
対象			桜井小学校全児童、保護者
ねらい/内容			突然の病気のため、両足と手の指を失いながらも、「筆師」として筆を執り続け作品を制作すると同時に、競技用義足を装着して、国内外のマラソン大会に挑戦している横田氏より、熊本城マラソンにも出場された講師の常に前向きな生き方に触れることで、自分の事と重ねながら考えていく機会とするともに、お互いが助け合っていくことが大切であるという思いを深める。
参加者の反応感想等			<ul style="list-style-type: none"> <li>・横田さんのいろいろなことにチャレンジされている気持ちを見習いたいと思いました。大人になっても素直な気持ちを伝える大切さに気付かされました。</li> <li>・子ども達にとって貴重な体験になったと思います。笑顔を意識していきたいと思います。</li> <li>・思ったことをちゃんと伝えることが大事で家に帰ったら、聞いてあげたいと思いました。自分にもありがとうと伝えたいと思います。子ども達に分かりやすいことばで伝えていただき、勇気が伝わったと思います。</li> </ul>
項目			講座名
⑥	⑦	①	こどもチャレンジ公民館2025
日時			6月7日(土)～11月29日(土) 主に午前中(全11回)
場所			植木公民館 多目的ホール
対象			植木町の小学生
ねらい/内容			体験活動の充実をはじめ、想像力、企画力、実行力等の育成を目指し、こどもたちから「こどもチャレンジ公民館プランナー」を募集し、そのプランナーを中心に事業を実施する。また、熊本保健科学大学ボランティアサークル「Ridet」と連携し、活動の支援をしてもらった。
参加者の反応感想等			<ul style="list-style-type: none"> <li>・楽しく活動がきた。準備が大変だったけど「わくわく植木祭り」ができてよかった。</li> <li>・イベントはもう少しお客さんが来てくれればよかった。</li> <li>・違う学校の人と友達になれてよかった。</li> </ul>



〈西部公民館〉

項目			講座名
①	⑤	⑥	こどもの足が速くなる！？足育講座
日時			令和7年9月15日(月・祝) 午前10時～11時半 全1回
場所			西部公民館 大ホール
対象			小学生とその保護者(参加者数40人)
ねらい/内容			熊本市文化スポーツ財団と連携して行った講座。保護者に対し、こどもの足の成長に目を向けてもらい、心身のバランスの取れた成長のために、親子で取り組むもの
参加者の反応感想等			靴の裏を見ることで、歩き方の癖をみつけることができた。様々なトレーニングがあることが分かった。こどもと一緒に取り組みたい。といった声があった。



〈東部公民館〉

項目			講座名
③	④	⑥	キラキラ フルーツポンチ大作戦～織姫と彦星の七夕を彩ろう～
日時			令和7年6月29日 13:00～15:00
場所			東部公民館 料理実習室
対象			小学1年生～6年生
ねらい/内容			レクリエーションや調理実習（フルーツポンチづくり）を通して、仲間との協力の大切さを学び、また大学生と小学生がともに活動することにより、世代間の交流の推進を図り、コミュニケーション能力の向上を図る。 仲間と共に協力して活動することによる充実感により、青少年の健全な育成を支援する活動でありたい。
参加者の反応感想等			小学生は、講座内で、ゲーム形式で七夕という行事について知ることができた。また、その七夕を彩る自分たちで食べるデザートをつくり楽しく、充実した表情であった。 また、本講座の講師である大学生は、教育学部に所属しているため、小学生への接し方、意欲の出し方について学ぶ機会となった。

⑦地域学校協働活動の推進

地域学校協働活動に携わる地域住民の学びや住民同士のつながりづくりに積極的に関わりながら、学校と連携・協働して「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」を推進する。

〈北部公民館〉

項目			講座名
③	⑦	⑨	北部中学校特別支援学級「SDGsの学習」とコラボした北部まちづくりセンター・公民館 花壇の整備
日時			令和7年(2025年)4月～令和8年(2026年)3月 月1回程度
場所			北部まちづくりセンター・公民館正面玄関前花壇
対象			北部中学校特別支援学級生徒
ねらい/内容			北部中学校特別支援学級のSDGs学習と連携し、北部まちづくりセンター・公民館正面玄関前の花壇整備を年間を通して行うことで、地域の一員としての自覚や意識を高め、持続可能な社会づくりに向けた実践力を育む。
参加者の反応感想等			年間を通して計画的に花壇整備を行い、四季折々の花や球根を植え、草取りや土づくりに取り組んだ。生徒一人ひとりが熱心に活動し、花壇が美しくなることで達成感を味わい、地域に貢献する喜びを感じる姿が多く見られた。



〈秋津公民館〉

項目			講座名
①	⑦	⑧	お出かけ公民館「熊本地震と秋津校区の防災について」
日時			令和7年7月1日(火) 9時～11時30分
場所			秋津公民館 ホール
対象			秋津小学校6年生(参加者数97人)、秋津校区防災連絡会(参加者12人)
ねらい/内容			地域の方々から熊本地震の避難所の様子や地域でのできごとなどを聞き、秋津校区での防災の取組みについて知ることにより、自分や家族の身を守るために必要な防災への取組みについて考える。
参加者の反応感想等			まちづくりセンター職員との連携のおかげで、地域の方々の協力を得られ、子どもたちが地域の防災について深く学ぶことができ、「防災フェスタ」で子どもたちの学習成果を発表することにより、子どもたちの意欲が高まった。「学校で学んだことを自分の地域で生かす」ということもできた。



〈河内公民館〉

項目			講座名
③	④	⑦	おれんじしょっぷ(西区金峰山エリアまちづくり事業実行委員会主催)
日時			令和7年11月29日(土) 午前10時～午後3時半
場所			桜の馬場 城彩苑
対象			小学生14人
ねらい/内容			子どもたちが、ふるさとの良さを見つけ、地元の誇りを育む誇りを育ててくれることをねらいとし、希望者を募って実施。内容は、地元の特産品である、「みかん」「のり」の販売PRを行うため、自らPOPを作ったり、PR方法を考えたりし、実際に販売する。
参加者の反応感想等			積極的に商品をPRする姿が見られた。今年度は外国から観光にいられている方も多く、児童からは「外国の方にも河内の魅力を知ってもらえて良かった」「外国人が買ってくれたときなんて返せばいいかわからなかった。来年、いろいろな言葉を覚えて、またきたい。」等の感想があり、児童も河内の良さを実感したようだった。



〈花園公民館〉

項目			講座名
⑥	⑦	⑨	お出かけ公民館講座「花園小学校 ボッチャ 講演・体験」
日時			令和7年9月29日(日) 午前8時40分～午前10時20分
場所			花園小学校 ホール
対象			花園小学校3年生
ねらい/内容			花園小学校3年生の総合的な学習の時間において、障がい者スポーツの学びの一環として実施した。熊本ボッチャ協会の方々へ依頼し、ボッチャの協議の特性やルールについて学び、実際に体験を行う。
参加者の反応感想等			児童が楽しんで参加しており、普段見ることができない専用の道具も見ることができていた。実際に3コートで対戦し、体験を通してボッチャに対する学びを深めていた。



〈五福公民館〉

項目			講座名
⑦	③	⑤	ふれあいペタンク
日時			令和7年12月2日(火) 午後2時～午後3時40分
場所			五福公民館ホール
対象			(参加者数43人)
ねらい/内容			子どもたちと地域住民との交流を推進し、心豊かな人情味あふれるまちづくりを進める「世代間交流事業」の一環として、ペタンクを通して福寿会と五福小5年児童との交流を図った。
参加者の反応感想等			地域の高齢者による授業として取り組んだ。みんなが楽しめる競技なので交流がスムーズで和やかな雰囲気となり、よかったと思う。学校が身近に感じられていたし、児童も楽しそうだった。



〈大江公民館〉

項目			講座名
⑦	①	④	夏休み勉強おたすけ隊！
日時			令和7年7月30日(水) 午後2時～4時
場所			大江公民館 大ホール・ABC会議室
対象			小学生(参加者数30人)
ねらい/内容			高校生ボランティアが講師となり、夏休みの初期に勉強の援助をする。小学生は、夏休みの課題など自分の取り組みたい題材を持ち寄り、それぞれの担当の高校生と和気あいあいとした雰囲気です学習する。
参加者の反応感想等			小学生は主体的に取り組む姿勢があり、多くの参加者が自らの目標とする課題をおよそ終えることができ、満足していた様子であった。高校生には良い交流の機会となり、ボランティアの意識も高まった。



〈植木公民館〉

項目			講座名
⑦	①	⑥	おでかけ公民館講座 こども走り方教室(大和地域コミュニティーセンター主催事業)
日時			5月11日(日) 午前9時半～午前11時半(全1回)
場所			菱形小学校
対象			大和地区の小学生
ねらい/内容			大和地域コミュニティーセンター事業(植木寺子屋)の一環として開催。スポーツの基礎となる走り方について、実技や練習方法をわかりやすく学び、走る楽しさを知ることで、こども達の基礎体力向上につなげる。
参加者の反応感想等			多くのこどもは、「もっと走るのが、早くなりたい」と言っていたが、少数ではあったが「走るのが苦手」といったこどもも参加していた。そんなこども達が運動会を前に計画したこの教室で、走ることに一生懸命に取り組む「早くなりたい」といった意欲に満ち溢れた姿が印象的だった。また、終了後も保護者と一緒に楽しそうに、今日習ったことを繰り返す姿を見て、主催者として、嬉しかった。



項目			講座名
⑦	⑥	⑨	植木公民館主催事業 おでかけ公民館講座 「長崎原爆被害のお話し いま私が伝えたいこと」
日時			11月18日(火) 午後1時40分～午後2時40分(全1回)
場所			田底小学校
対象			田底小学校 6年生
ねらい/内容			長崎への修学旅行を控えた6年生に対して事前学習として実施。当時、国鉄職員として長崎市内で勤務されていた深堀弘泰さんの紙芝居を、また語り部の工藤さんの体験を交えた話を聴き、平和の尊さを学ぶ。
参加者の反応感想等			・原子爆弾が落とされた後にも癌などで苦しんでいる方がいて、核兵器を使うことは絶対にダメだと思いました。 ・自分は戦争を体験していないけど、今日話を聞いて、想像がつかしました。辛いこともあると思うのに、自分たちに話してくれたのですごいなと思いました。 ・本などで読むような感じより、実際に話を聞くと生々しさがあって、少し怖かったけど、当時の人はもっと怖かったことを知って、しっかり学んで家族やきょうだいに教えたい。



〈東部公民館〉

項目			講座名
①	③	⑦	おでかけ公民館「ことをひいてみよう」
日時			令和7年12月1日 8:45～11:45
場所			健軍東小学校 音楽室
対象			小学4年生
ねらい/内容			健軍小学校4年生の音楽の和楽器の授業において、公民館の利用者の琴の先生に講師をしていただき、和楽器のすばらしさについて知るとともに、体験活動を行う。活動では琴のみではなく、尺八や茶道の体験も含め、和の文化を知る良い機会とする。
参加者の反応感想等			<p>琴に触れることができ楽しかった。</p> <p>やさしくたくさんの人から和楽器である琴や尺八の体験をするとともに、茶道の勉強もして日本文化について知ることができ児童は楽しそうであった。</p> <p>普段経験できない伝統的な和の文化に生で触れ体験ができたことにより、非常に充実した表情を浮かべていた。</p>



〈天明公民館〉

項目			講座名
⑥	⑦	⑨	平和教育動画上映会
日時			令和7年9月18日(木) 午後2時～4時
場所			天明ホール
対象			天明中学校全校生徒:地域在住の市民
ねらい/内容			戦後80年の節目の年に、若い世代である地元の中学生を中心に、戦争と平和について考える機会にと企画。第二次大戦中の特攻隊を題材にした舞台劇の動画を上映した。
参加者の反応感想等			<p>観覧した中学生は、単に亡くなった人を数字で述べるだけでなく、そのひとり一人に物語や人生があった事を理解する必要があると述べ、それぞれの命の大切さを感じてくれた。</p>



⑧地域の防災力の向上

地域の防災・減災力を高めるための学びの場をつくり、地域の防災組織の学習の支援、地域の防災士等のボランティアとの連携、自主防災組織との連携などを通じて、だれもおきざりにしない地域防災の活動の支援、促進を行う。

〈飽田公民館〉

項目			講座名
①	④	⑧	防災！お話&サバイバル飯炊き講座
日時			令和7年 11月16日(土) 午前9時30分～正午 全1回
場所			飽田公民館 生活工房室 駐車場
対象			18歳以上(高校生可)(参加者数32人)
ねらい/内容			地域の減災・防災を目指し、指導者育成の一環として実施した。防災意識を高めるため、できるだけ市民の方々に興味をもって参加希望が多くなるような内容として空き缶による炊飯実技とした。また、実技だけではなく知識・心構えとして過去の事例をまとめた講話を地域の防災士の会に依頼した。実習後には講師より技術指導員の免許状が渡された。
参加者の反応感想等			講話では、教訓的な学びが多く今後の災害時の行動に参考になるといった声が多く聞かれた。飯炊きについては工作的な部分や野外調理の要素も加わり、皆さんが持ってきたおかずとともに笑顔で食され、楽しくためになる講座だったという感想が多かった。



〈北部公民館〉

項目			講座名
①	③	⑧	ほくぶキッズ遊学塾 防災キャンプ
日時			令和7年(2025年)11月15日(土)午後2時～11月16日(日)午前11時
場所			北部公民館
対象			ほくぶキッズ遊学塾生(小学3～6年生)、 北部高校生ボランティアサークルわいわいHVC(ボランティア団体)
ねらい/内容			小学生が日常的に災害への備えを考え、防災意識を高めながら、災害時に必要な知識や判断力、行動力を実践的に学び、自分で考えて動く力を育む。 ※まちづくり班主催の防災デイキャンプと同日に開催。
参加者の反応感想等			防災ワークショップやナイトウォーキングが楽しかった。防災食を食べて、災害のときに何が必要か分かった。オリエンテーリングでみんなと協力できてうれしかったし、災害のときに自分で考えて動くことが大事だと思ったという感想があった。



〈秋津公民館〉

項目			講座名
④	⑧	⑤	東野中ナイストライ「サバメシ体験」
日時			令和7年9月9日(火) 9時～12時
場所			秋津公民館 A会議室・ピロティ
対象			東野中2年生(参加者数3人)、お花ボランティア(参加者数5人)
ねらい/内容			職場体験に来た東野中2年生とお花ボランティアのメンバーが多世代交流をしながら空き缶をかまどに、牛乳パックを燃料にしてご飯を炊く「サバイバル飯炊き」に挑戦した。防災意識を高め、自然災害で電気やガスなどが使用できないときでも温かいご飯を作ることができる。
参加者の反応感想等			参加した生徒からは『「サバメシ体験」は、ナイストライの中で一番心に残りました。』という感想が、お花ボランティアの方からは、「非常時でも家にあるものでこんなに美味しいご飯が炊けるなんてビックリしました。中学生との交流も楽しかったです。』という感想が聞かれた。



〈河内公民館〉

項目			講座名
①	④	⑧	防災力アップ講座 ～災害への備えと知恵～
日時			令和8年3月7日(土) 午前10時～正午 全1回
場所			河内公民館 大会議室C
対象			(参加者数 人)
ねらい/内容			市民の防災力の向上を図ることをねらいとしている。前半は、熊本県危機管理防災課と熊本市西区総務企画課の職員を招き、マイタイムラインチャレンジを行う。後半は、河内校区担当の地域おこし協力隊による防災グッズ作りを行う予定である。
参加者の反応感想等			今後実施予定

〈五福公民館〉

項目			講座名
⑧	①	③	地震避難訓練
日時			令和7年4月20日(日) 午前9時～正午
場所			五福小学校グラウンド
対象			地域住民(参加者数14人)
ねらい/内容			避難所体験を実施した。地震被災時の動き方、避難所設営の仕方、防災料理体験を通して、近隣の人との顔合わせをした。緊急時の対応について体験することで、万が一に備える心構えを養った。
参加者の反応感想等			「パッキングが面白かった。」「避難の仕方がわかってよかった」等の感想があった。



〈清水公民館〉

項目			講座名
①	③	⑧	地球温暖化を考える
日時			令和7年10月19日(日) 午後1時半～3時 (全1回)
場所			清水公民館 ホール
対象			小学4年生以上の方 (参加者数43人)
ねらい/内容			地球温暖化の進行を止めるために、多角的なデータを提示しながら、参加者自身に家庭や地域でできることを考えてもらう。防災や減災についても触れる。
参加者の反応感想等			「温暖化が進行していることが分かった」「地球温暖化の進行を遅らせるために自分や家族ができることからやっていきたい」「災害が甚大化していく。これから家族や地域を守るために備えていきたい」



〈大江公民館〉

項目			講座名
⑧	③	⑥	防災食パッククッキング教室
日時			令和7年11月16日(日) 午前10時～正午
場所			大江公民館 調理室
対象			小学生とその保護者(参加者数20人)
ねらい/内容			熊本地震から学んだ防災への意識を薄れさせないために、限られた生活の中で何ができるかをあらためて考え、目の前のものに視点を当て、皆で取り組める防災保存食について学ぶ。
参加者の反応感想等			親子で楽しめて簡単に作ることができ、子どもが好むメニューで取り組むことができた。また作りたいという子どもの声も多く、普段からの備えについて考え、防災意識を高める良い機会となった。



〈南部公民館〉

項目			講座名
①	②	⑧	スマホで始めよう！災害の備え
日時			令和 7年 8月 27日(水) 午前 10時～正午 全1回
場所			南部公民館 B会議室
対象			どなたでも(参加者数 20人)
ねらい/内容			スマホを使って防災の備えをする講座。スマホ操作の内容も含まれるので、防災意識を高めながらスマホの技術も高められる。地震情報や避難所情報など災害に関する内容をすぐにスマホで確認できるようになる。
参加者の反応感想等			スマホの使い方が少しわかるようになった、台風の時もスマホで確認できるなどの感想があった。さらに講座後も質問したり、確認し合ったりする場面も見られた。



〈富合公民館〉

項目			講座名
③	⑥	⑧	防災！親子でペットボトルピザづくり教室
日時			令和7年5月18日 (日)午前10時～12時半 全1回
場所			富合公民館料理実習室及び屋外
対象			(参加者数 22人)
ねらい/内容			小学生と保護者を対象に防災力向上をねらった講座。講師は、熊本シティエフエムの徳山さんと桑野さんに依頼し、社会教育指導員も補助に入って実施。持続可能な地域の防災力向上に加え、防災意識とスキルを広げることが期待。
参加者の反応感想等			「これから梅雨に入り、線状降水帯の発生などに見舞われるであろう時期に経験できてよかった」という保護者の声や「意外と簡単で美味しくできた」という子どもの声と両方であった。親子で一緒に体験できたことがきっと力に代わるときがくると期待が膨らんだ。



〈植木公民館〉

項目			講座名
⑧	②	①	LINE入門講座
日時			4月23日(水)・25日(金)・30日(水) 午前10時～正午(全3回)
場所			植木公民館 視聴覚室
対象			どなたでも
ねらい/内容			LINE利用のため基本操作をマスターしていただくとともに、緊急時に連絡等が取れるスキルを身に付けていただくための内容。
参加者の反応感想等			<ul style="list-style-type: none"> <li>初めての主催講座の受講でしたが、とてもためになりました。しかも、安価で感謝しています。</li> <li>楽しくためになりましたが、自分で講座のように使えるかどうか？少しでも慣れて、使えるようにしたい。みなさんも、親切で、緊張もほぐれます。楽しく習えることは、精神的にとっても良いと思っています。</li> <li>次のステップをお願いします。知りたい事を聞けました。よく分かりました。</li> </ul>



〈西部公民館〉

項目			講座名
⑥	⑧		ペットボトルピザづくり体験
日時			令和7年8月30日(土) 午前10時～正午 全1回
場所			西部公民館 調理室、駐車場
対象			小学生とその保護者(参加者数14人)
ねらい/内容			ペットボトルピザづくりを親子で体験することにより、災害時の食事への備え等を考える場とし、防災意識を高めるもの。焼きあがったピザを、実際の災害の場で考えることとして、分け合うことまで体験することができた。
参加者の反応感想等			木炭を使って、あっという間にピザを焼くことができるとすごかった。家族や周りの人と分け合うという考え方は素敵だと思いました。という感想があり、防災を意識した日常生活へつなぐことができたのではないかと思います。



〈龍田公民館〉

項目			講座名
⑧	⑥	③	親子防災キャンドル作り講座
日時			令和8年1月10日(土) 午後2時～3時半 全1回
場所			龍田公民館 C会議室
対象			小学生とその保護者(参加者数2組・4人)
ねらい/内容			親子でキャンドルを作ったり、紙芝居で防災について学ぶ体験講座を企画した。紙芝居では、電気が当たり前に使える毎日が、地震によって停電し、暗闇を経験する物語。普段から、非常食などの備えが大切であることも学んだ。
参加者の反応感想等			最初に紙芝居で、防災について学び、その後、小学生が熱心にキャンドル作りに取り組む様子を、保護者が隣で見守っていた。非常災害備蓄用水を渡すと喜んでおられた。



〈龍田公民館〉

項目			講座名	
⑧	⑦	⑥	親子で楽しく防災について学ぶ～作って食べようたかんぼご飯～	
日時			令和7年12月14日(日) 午前10時～午後1時 全1回	
場所			龍田プレイパーク	
対象			龍田西小家庭教育学級(参加者数 12人)	
ねらい/内容			防災の意識を持つきっかけ作りとして、竹にお米を入れ、野外でご飯を炊いて、親子で楽しく学ぶ機会とする。講師から防災について話をさせていただき、その後親子で協力して、竹にお米を入れて薪で炊き上げた。	
参加者の反応感想等			防災や日頃の身の回りの危険なことについて予防策など学ぶことができた。参加した子どもがのこぎりで青竹を切り分け、40分ほどかけて薪で炊き上げた。プレイパークの方の協力を得て、味噌汁も作り親睦が深まる時間となった。	



〈天明公民館〉

項目			講座名	
③	⑧	④	地域防災の課題を再検討	
日時			令和8年3月14日(土)午前10時～正午	
場所			地域公民館	
対象			どなたでも	
ねらい/内容			校区の小学校の閉校に伴い、沿岸部に位置する地域の防災について、改めて考え直す。台風や津波などの災害時の避難所や避難経路などについて、地域住民と防災士とともに考え課題をみつけ整理する。	
参加者の反応感想等			3月実施予定なので参加者からの感想は無いが、講師役の地域に在住の防災士との事前打合せでは、日頃気づかなかった課題を洗い出し、今後の地域の防災につながるとても良い企画と思うとの感想をもらう。	

今後実施予定

⑨ 共生社会の実現(人権意識の向上)

性別、障がいの有無、病気、国籍、年齢などに関係なく、一人ひとりの人権が尊重され、互いの生き方を認め合うとともに、多様な考え方が活かされる社会を実現するために、学級・講座の開設や交流活動など人権に関する多様な学習機会を提供する。

〈北部公民館〉

項目			講座名	
④	⑨		やさしい日本語講座	
日時			令和7年11月21日(金) 午後6時半～8時	
場所			熊本市北部公民館 大会議室	
対象			どなたでも(日本人もしくは日本語が母国語の方)	
ねらい/内容			地域や職場の外国の人々と安心して関わり合える関係を築くために、気持ちや情報をよりよく伝える日本語の工夫を学ぶ。台湾出身のタクシードライバーのゲストトークを通して、日本語で困ったことや日々感じていることなど、外国出身の方の実体験から気付きを得る。	
参加者の反応感想等			外国出身の方と日本語コミュニケーションを取る際の工夫を学び、言葉の選び方や表現の大切さを実感した。簡単な言い換えやゆっくり話すことで気持ちが伝わりやすくなると分かり、今後の交流に自信が持てた。台湾出身の方のお話が聴けてよかったという声が多かった。	



〈秋津公民館〉

項目			講座名
④	⑨	⑤	人権教養講演会「見えないだけ～見えないからこそ見えるもの～」
日時			令和7年9月7日(日) 10時30分～11時30分
場所			秋津公民館 ホール
対象			どなたでも(参加者数119人)
ねらい/内容			視覚障がいを持つに至った経緯や日常生活での工夫や子育てへの挑戦、周囲のサポートや自立への道のりについてのお話を聞き、視覚障がい者が普段困っていることを知り、障がいのある人やさまざまな特性を持った人を、一人一人が理解して支え合うことをめざす。
参加者の反応感想等			参加者からは「目が見えなくてもデジタル機器を活用したり、居宅介護(ホームヘルプ)などを利用したりして自立した生活をされていることに驚いた。」「見えないからこそ子どもの変化に敏感に気づいたり、話をゆっくり聞いたりされていることを知り、自分自身の子どもへの向き合い方を考え直すきっかけとなった。」などの感想が聞かれた。



〈花園公民館〉

項目			講座名
⑥	⑧	⑨	教養講演会「こども食堂と地域の未来」
日時			令和7年11月30日(日) 午前2時～午後4時
場所			花園公民館ホール
対象			参加者数 31人
ねらい/内容			こども食堂に早くから携わられていた竹下紀子さんの講演である。地域の未来を考えるためのヒントを地域食堂の視点で学んでいく。
参加者の反応感想等			地域のために何ができるかを考える機会になった。後半のトークセッションでは、こども食堂の関係者だけでなく、地域のために活動している方など様々な立場の方が語り合うことができた。



〈五福公民館〉

項目			講座名
⑨	⑥		水俣病をめぐる人権について
日時			令和7年6月27日(金) 午後1時半～午後3時半
場所			一新小
対象			児童、地域住民(参加者数64人)
ねらい/内容			なぜ水俣病の学習をするのかを考えるとともに、水俣病を正しく理解し、これからの未来のあるべき姿がどうあるべきか学んだ。
参加者の反応感想等			感想には「杉本さんは強くて優しくてかっこいいな。」「私も周りの人のことを大切にします。」などがあつた。自然環境を大切にすることの重要性、命の尊さ、人と人とのつながりの重要性などを子どもたちは学んだ。杉本さんの子ども時代のお話と今の自分の暮らしを重ね合わせて想像したり、周りの人たちはどんな暮らしをしているのかと思いを馳せたりと、それぞれの子ども達の心の中に温かい気持ちが出来たように感じた。



〈五福公民館〉

項目			講座名
⑨	④	③	初めての手話講座
日時			令和7年(2025年)8月9日、16日、23日、30日、9月13日、20日、27日、10月4日、11日、11月1日午後2時～午後4時(全10回)
場所			熊本市五福まちづくり交流センター 2階中会議室B
対象			地域住民24人
ねらい/内容			初級手話講座。手話の普及率向上、定着率アップを図る全10回講座。10月に実施される「全国手話検定試験」4級または5級の受験をめざす。
参加者の反応感想等			「面白かった。手話をもっと覚えて使えるようになりたい。」等の感想があった。10回の講座を通して受講生同士のつながりも深まり、講座が終了した後に自分たちでグループを作って月に2回ペースで学習を始めた。



〈幸田公民館〉

項目			講座名
	⑨		ベビー&マミーボックス
日時			令和7年5月1日(木)午前10時～正午 全4回
場所			幸田公民館 和茶室
対象			(参加者数 26人)
ねらい/内容			講師は、Besmileに依頼しねらいは、8ヶ月未満の乳幼児と保護者向けのエクササイズを理解する。乳幼児の特性を理解し、具体的にどんな内容が、乳幼児を心地よくし親子同士よりよい関係を築けるかを実技を通して実践的に学ぶ内容だった。生後2ヶ月～7ヶ月の乳幼児が13組が参加した。
参加者の反応感想等			「こどもが喜ぶエクササイズを具体的に知る機会となり、4回あったので内容理解が進んだ。」「自宅でも取り組んでこどもが喜ぶ様子があり、まだ言葉を発しない乳幼児の育て方がよくわかり参加して良かった。」との意見が多く出された。



〈城南公民館〉

項目			講座名
①	⑥	⑨	こころを育てるあったかセミナー
日時			①令和7年7月29日(火)・②9月18日(木)・③11月15日(土)・④令和8年2月12日(木) ①②④午後6時半～8時・③午後1時半～3時 全4回(予定)
場所			城南公民館 大学習室
対象			どなたでも(参加者数各50人程)
ねらい/内容			多様で複雑な社会になりつつある現在、人権問題に関する様々なテーマをもとに課題事象を捉え考えていき、人権意識向上と実践的な態度につなげていくことをめあてに実施している。
参加者の反応感想等			今年度はテーマを「こどもの権利・人権問題」「性的指向・性自認問題」「ハンセン病問題」「同和問題」について実施予定である。参加者も自らを振り返り、差別の現実を知り・学び、自らの言動に責任を持つこと、周りに優しさと思いやりの心を持って行動に移していく大切さを実感していた。



〈城南公民館〉

項目			講座名
①	④	⑨	世界の国から学ぼう！～アフリカの文化と伝統を学ぼう！～
日時			令和7年11月23日(日) 午前10時～11時半 全1回
場所			城南公民館 大学習室
対象			親子[小学生以上](参加者数1組[大人1人・子ども4人])
ねらい/内容			多様な価値観・文化の違いを知るきっかけとして、国際理解の親子学習を実施した。今回はアフリカの風習・文化・歴史等の学習を通して、アフリカの伝統的な「体を動かす遊びやゲーム」を熊大大学院留学生(アフリカ人6名)と交流を深めながら体験を行った。
参加者の反応感想等			一般的にアフリカの文化・習慣等についての認知度は高くなく、参加者はアフリカをより知る機会になって良かったと語っていた。またアフリカの方々と直接話したり、日本にはない伝統的なゲームや体を動かす遊びと一緒に体験できることを楽しんでいた。



〈清水公民館〉

項目			講座名
①	④	⑨	清水公民館日本語教室
日時			令和7年5月4日(日)～令和8年3月29日(日) 午前10時～11時半 (毎月2回、全22回)
場所			清水公民館 第1研修室
対象			熊本在住の外国人 (登録者数28人)
ねらい/内容			熊本在住の外国籍の方を対象に、分かりやすい日本語を学んでもらう「日本語教室」を開催した。熊本市国際交流振興事業団3人と、日本語ボランティア(日本人)14人の支援を得て学びを進めた。
参加者の反応感想等			「仕事上使われるものの、意味がよく分からなかった言葉が、教えてもらって分かるようになった」 「日本の季節行事や、熊本の素敵な場所を教えてもらえて良かった」



〈大江公民館〉

項目			講座名
⑨	①	③	中央区合同人権講演会
日時			令和7年9月28日(日) 午後2時～午後3時半
場所			大江公民館 大ホール
対象			どなたでも(参加者数190人)
ねらい/内容			人権啓発のための劇団天然木によるミュージカル公演を実施。命の大切さやお互いに支え合って生きることの意義を考えること及び人権意識の向上と啓発を目的とする。
参加者の反応感想等			命や環境について考える内容で、子どもから大人まで幅広い年代の方が参加され、親子での参加も目立った。ステージから直接訴えかける対話のような形態がたいへん印象に残る内容となった。



〈託麻公民館〉

項目		講座名
③	⑨	人権講演会「水俣の海と生き物たち～再生のシンボル ヒメタツ～」
日時	令和7年10月4日(土) 午後2時～3時半	
場所	託麻公民館 ホール	
対象	(参加者数 18人)	
ねらい/内容	水俣の海的环境を考え、再生に貢献している、水俣ダイビングサービス SEA HORSE代表森下誠さんの講演会。水俣の海がヒメタツが生息するほどきれいな海となった現状や、環境を守るために行っていることを知り、水俣の海のイメージをプラスのイメージにとらえ直す機会となった。	
参加者の反応感想等	水俣の海がこんなにもきれいな海に再生したとは知らなかった。環境を守るために努力され、成果が出ていることが分かった。水俣の海に対するイメージが変わった。機会があれば水俣の海に家族と潜ってみたい。	



〈富合公民館〉

項目		講座名
⑥	⑦ ⑨	ハートフル講演会「水俣に学ぶ」
日時	令和7年7月1日(火) 午後1時半～2時半 全1回	
場所	富合小学校 音楽室	
対象	(参加者数 128人)	
ねらい/内容	富合小学校5年生に向けて杉本肇さんから水俣病の語り部としての思いを語っていただき、10月に控える現地学習のあしがかりの機会として生かせるようお願いする形で講演を依頼。人権教育指導室とのタイアップであるハートフル講演会に位置づけて開催・実施。	
参加者の反応感想等	「書があることを知っていたなんて信じられない」、「正しいことを学ぶことが大事だと分かりました」など自分事として考えた発言があった。杉本さんは、子どもたちの受け止めについて「私の伝えたこと」をきっかけとして、今後またしっかり学んで水俣を訪れてほしいと話された。	



〈南部公民館〉

項目		講座名
①	④ ⑨	もっと学びたい手話講座～中級編～
日時	令和7年7月8日～3月10日第2火曜日 午前10時～正午 全9回	
場所	南部公民館 A会議室	
対象	(参加者数 20人)	
ねらい/内容	毎年行っている手話入門のステップアップ編を開催した。熊本県手話サークルの田中みさ代さんを講師に招き、聴覚障がい者や手話の理解を深め、コミュニケーションができるように学んでいく。まずは自己紹介を手話で表現できるように学ぶ。	
参加者の反応感想等	実際に人前でやりながら発表することですぐに覚えることができる。先生が優しく、丁寧に教えていただけなのでわかりやすい。初心者でも少しずつレベルアップできる講座。	



〈植木公民館〉

項目			講座名
⑨	①	③	北区公設公民館合同人権啓発講演会 「平和の大切さを考えて」
日時			令和7年10月13日(月) 13時30分～14時30分 (全1回)
場所			植木文化ホール
対象			どなたでも
ねらい/内容			広島・長崎に原爆が投下され今年で80年目となるのに合わせ、唯一の被爆国としての体験を風化させることなく、原爆死没者のご冥福と、核兵器の廃絶並びに世界の恒久平和の実現を祈念し、恒久平和への願いの高揚を図る内容。また、昨年に日本原爆被爆者被害団体協議会がノーベル賞を受賞されたが、2024年12月10日、ノルウェー・オスロにおいて、本年のノーベル平和賞授賞式の様子も交えて講話していただいた。
参加者の反応感想等			<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権についてはできるだけ多く歴史文化社会性について教えていただきたく思います。今の社会無視無知すぎます。ご苦労ご苦悩されている方々が発信できる機会があり楽になれるようにと思います。</li> <li>・今日のお話は、講演も素晴らしかったですが、質問されたかたそれぞれも意義あるもので、演者と会場が一体になってとても良かったです。</li> <li>・戦後80年を経て戦争の記憶が薄れる中、次の世代に戦争の実相を伝えて行くことが大切になっています。被団協の田中重光さんの講演と聞き、八代から足を運びました。きつとホールを埋め尽くす人出だろうと思い、入場できないと悲しいのでかなり早く到着したのですが、予想をはるかに下回る参加者でした。これほどまでに世間の関心が低いのかと愕然としました。さらに、比較的高齢の方が多く、対照的に若年層がほとんど見あたりません。このような状況もなんとかして変えていかなければと痛感しました。具体的にどうすればいいのか、アイデアはありませんが、諦めることなく行動していかなければと思い直した次第です。</li> </ul>



〈西部公民館〉

項目			講座名
⑧	⑨		西区3館合同人権映画上映会「生きる」
日時			令和7年11月24日(月・祝) 午前9時半～11時半 全1回
場所			西部公民館 大ホール
対象			どなたでも(参加者数69人)
ねらい/内容			東日本大震災で大きな被害のあった大川小学校の津波裁判を追ったドキュメンタリー映画を上映することで、災害にあった人びとへと心を寄せ、大きな災害というものに思いを及ぼせる機会として開催するもの。
参加者の反応感想等			見ていてとてもつらい気持ちになった。どうして津波被害にあってしまったのか？裁判を起こした理由など、人の命について考えさせられる作品だった。といった感想が挙げられた。

〈東部公民館〉

項目			講座名
③	④	⑨	多文化共生「切り絵教室」
日時			令和7年11月1日 1回 10:00~12:00
場所			東部公民館 ホール
対象			在住外国人
ねらい/内容			日本の伝統的な文化形成を行ってきた「切り絵」の体験を通して、在住外国人の方が日本文化に触れる機会をつくるとともに、本館生涯学習自主講座「切り絵教室」の講座生の学びの還元を行う。 講座生と在住外国人がお互いの習慣や価値観に関する理解と交流を深めることにより、異国の地で活躍する在住外国人の心よりどころをつくる。
参加者の反応 感想等			最初は難しかった。優しく教えてもらった。良い体験をした。参加者同士の交流を深め、お互いの境遇などを話すことができた様子である。 又、日本文化に触れることで、普段接さない地域の人々とも交流を深めることができた。又、自分自身で作り出した切り絵の作品に満足している様子であった。



〈龍田公民館〉

項目			講座名
⑨	⑥	④	地域での子育てから始まった子どもたちとの出会い～実子、里子たちの関わりから見えたもの～
日時			令和7年5月31日(土) 午前10時～11時 全1回
場所			龍田公民館 A会議室
対象			どなたでも(参加者数 31人)
ねらい/内容			子どもの人権について学ぶ機会を持ちたいと考え、宮津航一さんの里親である宮津ご夫妻に講師を依頼した。「地域の子どもは地域で育てる」という強く温かい思いを貫いて来られた活動を振り返っていただいた。実子も里子も同じ家族という深い愛情が感じられた。
参加者の反応 感想等			笑いあり、涙ありの、とても楽しく、心温まる講演となった。「子どもたちの良さや可能性を引き出したい」という宮津ご夫妻の思いが、感じられ、講演後に記念写真を依頼されたり、講演前に航一さん他数名からお花が届いたりするなど、大変心温まる時間を共有できた。



項目			講座名
⑨	⑥		平和の大切さを考えて
日時			令和7年10月13日(月・祝) 午後0時半～午後1時半 全1回
場所			植木文化センター
対象			どなたでも(参加者数 138人)
ねらい/内容			戦後80年の節目の年に、ノーベル平和賞を受賞した田中重光さんの講話を聞き、平和の大切さについて考えを深める機会を設けた。田中さんは幼少の頃、自宅(長崎)の庭で遊んでいたときに被爆され、その後平和を願う活動を推進されてきたことを講演いただいた。
参加者の反応 感想等			参加者のアンケートには「田中先生の講演をお聞きできることに驚きを覚えた。ご高齢であるのに精力的に活動され頼もしい存在だとつくづく思った。平和の尊さを孫に伝えていきたい。」など多くの好評を得た。



〈天明公民館〉

項目			講座名
①	⑤	⑨	戦争と平和を考える講演会
日時			8月23日(土)午前10時～正午
場所			天明公民館
対象			どなたでも
ねらい/内容			戦後80年の節目の年に、改めて、戦争と平和について考える。戦争遺族連合会の地域支部会の方の協力を得て、戦中戦後の熊本での出来事の話し、今も続く、硫黄島戦没者慰霊会の話し、天明公民館の敷地内にある戦没者慰霊碑の話しなどを講演。
参加者の反応感想等			平和の大切さを改めて思うとともに、戦争体験者が少なくなる世代に、ますます語り続ける事の大切さを訴える声が多かった。若い世代の参加者が少なく、今後、地元の小中学校と連携し実施してく事が求められた。



## (5) 各研究グループからの発表（ポスターセッション形式）

下記の項目を「重点取組項目」とし、社会教育主事で研究グループを編成し、年間を通して学習を深めてきた。研究グループ毎にポスターセッション形式で説明及び質疑を行う。

- ① 若者の学びの場と地域参画の機会づくり
- ② 地域の防災力の向上
- ③ 共生社会の実現（人権意識の向上）
- ④ まちづくりセンター（地域担当職員）との連携